

(様式第 9)

慶病経発第 25-26 号
平成 25 年 10 月 9 日

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法
清

慶應義塾大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	226 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	660 人	49 人	682.7 人	看護補助者	115 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	15 人	4 人	16.7 人	理学療法士	14 人	臨床検査技師	137 人
薬剤師	99 人	0 人	99.0 人	作業療法士	4 人	衛生検査技師	0 人
保健師	0 人	0 人	0.0 人	視能訓練士	15 人	その他	0 人
助産師	34 人	0 人	34.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看護師	1008 人	8 人	1011.5 人	臨床工学技士	23 人	医療社会事業従事者	4 人
准看護師	2 人	0 人	2.0 人	栄養士	16 人	その他の技術員	66 人
歯科衛生士	4 人	0 人	4.0 人	歯科技工士	3 人	事務職員	222 人
管理栄養士	16 人	0 人	16.0 人	診療放射線技師	78 人	その他の職員	15 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	832.4 人	6.1 人	838.5 人
1日当たり平均外来患者数	2760.4 人	162.2 人	2922.6 人
1日当たり平均調剤数	5,256 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 胃がん	0人
ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	0人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与およびヘパシスマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る)ならびにヘパシスマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る)による維持療法	0人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る)およびカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る)の併用療法	0人
術後ホルモン療法およびS-1内服投与の併用療法	0人
脂肪萎縮症に対するレプチン補充療法	23人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療 期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	91人	・膿疱性乾癬	3人
・多発性硬化症	95人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・重症筋無力症	164人	・原発性胆汁性肝硬変	65人
・全身性エリテマトーデス	413人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	6人	・特発性大腿骨頭壊死症	52人
・再生不良性貧血	52人	・混合性結合組織病	62人
・サルコイドーシス	54人	・原発性免疫不全症候群	10人
・筋萎縮性側索硬化症	25人	・特発性間質性肺炎	17人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	295人	・網膜色素変性症	78人
・特発性血小板減少性紫斑病	152人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	33人	・肺動脈性肺高血圧症	78人
・潰瘍性大腸炎	629人	・神経線維腫症	36人
・大動脈炎症候群	55人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	136人	・慢性血栓性肺高血圧症	54人
・脊髄小脳変性症	45人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	519人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	9人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	26人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	137人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	12人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	22人
・後縦靭帯骨化症	80人	・肥大型心筋症	16人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	45人	・ミトコンドリア病	9人
・ウェゲナー肉芽腫症	16人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	57人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	41人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	12人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	60人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法またはCD-DST法)	・
・大腸腫瘍に対する内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・脂肪萎縮症に対するレプチン補充療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	中央臨床検査部 週5～6回、病理診断部 年間約80回
部 検 の 状 況	部検症例数 56 例 / 部検率 15.30%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
別紙1				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計884

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別紙2			

計338

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発および評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
糖尿病予防のための戦略研究	伊藤裕	医学部臨床教室	2,560,000 円	補 (J-DOIT) 財団法人 委 〇 国際協力医学研究振興 財団
L4およびその誘導体の投与実験	別役智子	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 (独) 医薬基盤研究所 委 〇
「外傷性脊髄障害における機能的ワイヤによる神経機能回復の評価」	中村雅也	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「微小環境がヒトiPS細胞及び胎児由来神経幹細胞の分化・腫瘍化に及ぼす影響」	中村雅也	医学部臨床教室	37,830,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「炎症の制御に基づく心不全の予防と治療」	佐野元昭	医学部臨床教室	6,370,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「周波数選択性・時間分解能を考慮した次世代型補聴器の開発」	神崎晶	医学部臨床教室	553,800 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「直接リプログラミングによる心筋細胞誘導の確立と臨床への応用」	家田真樹	医学部寄附講座	44,330,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「iPS細胞由来ヒト肝細胞ライブラリーの構築によるファーマコセロミクス基盤技術開発」	佐藤俊朗	医学部臨床教室	15,000,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
生体内ガス分子の生体制御機構の解明と医学応用	末松誠	医学部基礎教室	54,563,100 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
JST研究成果最適展開支援事業フィージビリティスタディステージ探索タイプ 鈴木 秀和 「病原性細菌特異的制御基盤構築に向けた、H.pyloriの鉄取り込みトランスポーターFecA1を標的としたリド化合物の機能解析」	鈴木秀和	医学部臨床教室	910,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「細胞除去ノ全肝マトリックスを基盤とし、ヒトES細胞由来 肝細胞を用いた補助肝臓グラフトの開発とその移植」	北川雄光	医学部臨床教室	2,790,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「シグナル伝達機構の解明と操作による個体行動や回路レベルの制御」	柚崎通介	医学部基礎教室	45,448,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「光による細胞内輸送とシナプス可塑性の制御」	松田信爾	医学部基礎教室	18,850,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「センダイウイルスベクターを用いた安全なiPS細胞作製と分化誘導」	房木ノエミ	医学部臨床教室	520,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「単一細胞における水・イオン動態の同時観測を可能とする技術開発」	安井正人	医学部基礎教室	8,250,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「特発性肺線維症治療薬の開発」	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究 所	119,600 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「人工癌幹細胞の作製とそれを標的とした創薬研究」	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究 所	67,870,400 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「エピジェネティック治療を目指した心不全の病態解明」	金田るり	医学部寄附講座	13,338,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「細胞内機能ドメインが大脳皮質形成に果たす役割の解明」	川内健史	医学部基礎教室	51,922,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「T細胞分化および樹状細胞分化のリプログラミング」	吉村昭彦	医学部基礎教室	139,139,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「微粒子光検出によるエキソソーム高精度定量技術の開発」	加部泰明	医学部基礎教室	4,875,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「顕微質量分析装置の活用・普及促進」	久保亜紀子	医学部基礎教室	260,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「質量分析イメージングによる炎症メディエーター分子の局在産生の可視化」	杉浦悠毅	医学部基礎教室	11,804,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇
「動的遺伝子ネットワークの多次元構造解析による高精度な細胞分化制御技術の開発」	洪実	医学部坂口光洋記念講 座	52,260,000 円	補 (独) 科学技術振興機構 委 〇

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
「生殖細胞の特性に基づく新しいリプログラミング手法の開発」	永松剛	医学部坂口光洋記念講座	12,350,000 円	補 (独)科学技術振興機構 委 ○
「超長寿げっ歯類ハダカデバネズミを用いた「積極的老化予防」機構の解明」	三浦恭子	医学部基礎教室	3,744,000 円	補 (独)科学技術振興機構 委 ○
「脳組織傷害後の慢性炎症における免疫制御機構の解明」	七田崇	医学部基礎教室	19,552,000 円	補 (独)科学技術振興機構 委 ○
「自然免疫反応におけるシェディングの役割と制御機構」	白壁恭子	医学部基礎教室	3,510,000 円	補 (独)科学技術振興機構 委 ○
「セレン化合物を用いた新規ドライアイ治療薬の開発」	樋口明弘	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 (独)科学技術振興機構 委 ○
患者登録・データ収集	福田恵一	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 (独)国立循環器病センター 委 ○
TEE普及に向けての講習会参加者拡大の試み	武田純三	医学部臨床教室	800,000 円	補 (独)国立循環器病センター 委 ○
生理活性ペプチドのミトコンドリア機能調整作用機序の解明と臨床応用に向けた基盤的研究	伊藤裕	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 (独)国立循環器病センター 委 ○
コホート研究成果の体系化とガイドラインへの適用の検討、生涯罹患リスクの算出と介入研究の応用	岡村智教	医学部基礎教室	1,600,000 円	補 (独)国立循環器病センター 委 ○
感覚器領域・眼科(特に前眼部、角膜)における再生医療実現に向けた取組	坪田一男	医学部臨床教室	3,600,000 円	補 (独)国立成育医療研究センター 委 ○
耳鼻咽喉科における再生医療実現に向けた取組	五島史行	医学部臨床教室	1,800,000 円	補 (独)国立成育医療研究センター 委 ○
小児リンパ管疾患の分子標的治療へ向けた研究	藤野明浩	医学部臨床教室	4,450,000 円	補 (独)国立成育医療研究センター 委 ○
小児がんに関する情報発信・小児がん研修の整備(小児外科学)	黒田達夫	医学部臨床教室	400,000 円	補 (独)国立成育医療研究センター 委 ○
小児リンパ管疾患の外科治療の実態調査及び治療指針策定に関する研究	黒田達夫	医学部臨床教室	500,000 円	補 (独)国立成育医療研究センター 委 ○
卵の加齢メカニズムの解明	浜谷敏生	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 (独)国立成育医療研究センター 委 ○
75歳以上高齢運転者における免許更新時の運転実態把握及び課題に関する検討	三村将	医学部臨床教室	600,000 円	補 (独)国立長寿医療研究センター 委 ○
コホート調査	岡村智教	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 (独)国立長寿医療研究センター 委 ○
度数を持たないピンホールコンタクトレンズの実用化	坪田一男	医学部臨床教室	5,313,000 円	補 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 委 ○
IT融合による新社会システム開発・実証プロジェクト/診断と治療を貫く癌診療システム開発/病理IT化と治療計画・プロセスの革新	坂元亨宇	医学部基礎教室	43,119,000 円	補 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 委 ○
がん超早期診断・治療機器の総合開発	坂元亨宇	医学部基礎教室	50,000,000 円	補 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 委 ○
血中メチル化DNAの新規検出方法を利用した、喉頭癌・子宮体癌の迅速診断システムの開発	座間猛	医学部臨床教室	16,900,000 円	補 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 委 ○
ヒト幹細胞産業応用促進基盤技術開発	福田恵一	医学部臨床教室	40,000,000 円	補 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 委 ○
ヒト幹細胞産業応用促進基盤技術開発/ヒト幹細胞実用化に向けた評価基盤技術の開発/多分化能および分化指向性の評価	岡野栄之	医学部基礎教室	11,950,000 円	補 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 委 ○
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	16,999,500 円	補 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 委 ○
医歯薬学分野ならびに総合生物学分野に関する学術研究動向調査研究、特別研究員事業の改善および科研費分科細目の改正に係るフォローアップ	小安重夫	医学部基礎教室	6,820,000 円	補 (独)日本学術振興会 委 ○
日白の人種や食文化の違いによる機能性ディスペプシアの症状発現と病態機序の比較検討	鈴木秀和	医学部臨床教室	2,500,000 円	補 (独)日本学術振興会 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
上部消化管知覚受容体発現とディスペプシア症状発現の日韓比較研究	鈴木秀和	医学部臨床教室	1,200,000 円	補 (独) 日本学術振興会 委 ○
皮膚科学分野に関する学術動向の調査研究	天谷雅行	医学部臨床教室	1,870,000 円	補 (独) 日本学術振興会 委 ○
指定寄附	高橋祐介	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ (独) 日本学術振興会 委
肺特異的遺伝子翻訳阻害モデルを用いた肺気腫の病態解明と治療開発	高橋祐介	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ (独) 日本学術振興会 委
癌領域における基礎から臨床への翻訳能と国際競争力を有する次世代リーダーの育成	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	34,686,000 円	補 ○ (独) 日本学術振興会 委
日英米を結ぶ先端医学分野における国際共同研究	吉村昭彦	医学部基礎教室	19,422,000 円	補 ○ (独) 日本学術振興会 委
遺伝子変異体メダカの作製とその効率化	谷口善仁	医学部基礎教室	6,104,000 円	補 (独) 農業・食品産業技術総合研究機構 委 ○
網膜変性モデルマウスを用いた研究<着色眼内レンズは白内障術後の網膜障害を予防する>	根岸一乃	医学部臨床教室	1,569,000 円	補 Alcon Research, Ltd. 委 ○
Early warning signals of ageing in human stem cells and age-related disorders	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	13,348,297 円	補 ○ EUROPEAN MOLECULAR BIOLOGY 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	塚崎克己	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人 愛育会 愛育病院 委
指定寄附	久保敦司	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 医療法人 弘池会 委
指定寄附	鈴木則宏	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 医療法人社団 蒲川会 委
指定寄附	三村將	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 医療法人社団 慶成会 委
指定寄附	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 医療法人社団 健育会 委
指定寄附	坪田一男	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 医療法人社団 三穂会 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
指定寄附	鈴木則宏	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 医療法人社団 仁明会 委 秋山脳神経外科・内科 病院
指定寄附	吉村泰典	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 医療法人社団 飯野病 委 院
指定寄附	森毅彦	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 一般社団法人 日本血 委 液製剤機構
指定寄附	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 一般社団法人 日本血 委 液製剤機構
指定寄附	青木大輔	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 一般社団法人 日本血 委 液製剤機構
指定寄附	山岸敬幸	医学部臨床教室	400,000 円	補 ○ 一般社団法人 日本血 委 液製剤機構
指定寄附	天谷雅行	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 一般社団法人 日本血 委 液製剤機構
清潔習慣と健康状態に関する調査	大前和幸	医学部基礎教室	9,300,000 円	補 一般社団法人温水洗浄 委 ○ 便座工業会
課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携 支援事業	坪田一男	医学部臨床教室	6,829,943 円	補 経済産業省 委 ○
平成23年度医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出 調査研究事業	末松誠	医学部基礎教室	26,428,572 円	補 経済産業省 委 ○
ナノ材料の安全・安心確保のための国際先導的安全性評価技 術の開発	武林亨	医学部基礎教室	4,000,000 円	補 経済産業省 委 ○
課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携 支援事業	矢作直久	医学部クラスター部門	2,644,950 円	補 経済産業省 委 ○
指定寄附	星淡子	医学部総合医科学研究 センター	900,000 円	補 ○ 公益財団法人 アサヒ 委 ビール学術振興財団
指定寄附	吉田理	医学部クラスター部門	1,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 日本腎 委 臓財団
指定寄附	藤岡正人	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科 委 学振興財団
指定寄附	三浦恭子	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 武田科 委 学振興財団
指定寄附	家田真樹	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 万有生 委 命科学振興国際交流財 団
指定寄附	神田武志	保健管理センター	1,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 万有生 委 命科学振興国際交流財 団
指定寄附	長谷川一宏	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 ○ 公益財団法人 万有生 委 命科学振興国際交流財 団
思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸 癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究	岩田卓	医学部臨床教室	2,118,000 円	補 公益財団法人国際科学 委 振興財団(株)イービー ○ エムズ
指定寄附	菊地栄次	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 公益財団法人佐川がん 委 研究振興財団
指定寄附	笹部潤平	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 ○ 公益財団法人持田記念 委 医学薬学振興財団
指定寄附	山下隼人	医学部	500,000 円	補 ○ 公益財団法人新世代研 委 究所
小児心電・心音図の基準値設定に関する研究	山岸敬幸	医学部臨床教室	557,970 円	補 公益財団法人東京都予 委 防医学協会 ○
指定寄附	宇留賀友佳子	医学部総合医科学研究 センター	1,000,000 円	補 ○ 公益信託 永尾武難病 委 研究基金
IgG4関連疾患に関する調査研究	坪田一男	医学部臨床教室	1,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特発性周辺部角膜腫瘍の診断および治療に関する研究	坪田一男	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	坪田一男	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ヒト幹細胞を用いた臨床研究のエビデンス創出から高度医療制度による実用化を目指した研究	坪田一男	医学部臨床教室	9,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
視覚系の希少難治性疾患群に関する症例データベース構築	坪田一男	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
B型肝炎ウイルス感染の病態別における宿主因子等について、網羅的な遺伝子解析を用い、新規診断法及び治療法の…	坂元亨宇	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
浸潤・移行等、がんの重要な臨床的特性の病理・病態学分子基盤の解析とそれに基づく診断・治療法に資する研究	坂元亨宇	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線維化評価法の開発と臨床的有用性の確立	坂元亨宇	医学部基礎教室	1,200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	中村雅也	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
多関節障害重症RA患者に対する総合的関節機能再建治療法の検討と治療ガイドライン確立	二木康夫	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
造血管細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	森毅彦	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
重症多形滲出性紅斑に関する研究	永尾圭介	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
リンパ管腫瘍の全国症例数把握及び診断・治療法の開発に関する研究	藤野明浩	医学部臨床教室	900,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	藤野明浩	医学部臨床教室	1,600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的研究	金子祐子	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ヒトiPS細胞を用いた致死的循環器疾患の病態解明と治療方法の開発	湯浅慎介	医学部臨床教室	13,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	竹内勤	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
次世代型IL-6受容体抗体使用時の炎症マーカーとしてのLRG定量キットの開発と臨床応用	竹内勤	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	竹内勤	医学部臨床教室	3,400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
関節リウマチに対する生物学的製剤の作用機序、投与方法、治療効果等に対する研究	竹内勤	医学部臨床教室	37,674,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
関節リウマチの関節破壊機序の解明と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法確立に関する研究班	竹内勤	医学部臨床教室	1,600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性血管炎に関する調査研究	竹内勤	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫難病に対する先駆的治療薬開発—生物製剤を中心とした早期臨床試験拠点の医・薬集学的整備によるFIMの実施とPOCの確立	竹内勤	医学部臨床教室	28,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
特発性心筋症に関する調査研究	福田恵一	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
遺伝性不整脈疾患の遺伝子基盤に基づいた病態解明と診断・治療法の開発に関する研究	福田恵一	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
腎・泌尿器系の希少難治性疾患群に関する調査研究	小崎健次郎	医学部クラスター部門	5,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
先天性異常の疾患群の治療方針と治療法開発をめざした情報・検体共有のフレームワークの確立	小崎健次郎	医学部クラスター部門	68,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遺伝学的手法における診断の効率的な実施体制に関する研究	小崎健次郎	医学部クラスター部門	650,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
VATER症候群の臨床診断基準の確立と新基準にもとづく有病率調査およびDNAバンク・iPS細胞の確立	小崎健次郎	医学部クラスター部門	8,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚生労働省委託事業 平成24年度ヒト幹細胞情報化推進事業	小崎健次郎	医学部クラスター部門	260,155,135 円	補 ○ 厚生労働省 委
分野横断型全国コンソーシアムによる先天異常症の遺伝要因の解明と遺伝子診断ネットワークの形成	小崎健次郎	医学部クラスター部門	94,600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
診断未定多発奇形・発達遅滞の実態把握と病因・病態の解明に関する研究	小崎健次郎	医学部クラスター部門	650,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
分野横断型全国コンソーシアムによる先天異常症の遺伝要因の解明と遺伝子ネットワークの形成	清水厚志	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
WHO伝統医療分類からの日本版漢方分類の作成	渡辺賢治	環境情報学部	1,900,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
漢方の特性を利用したエビデンス創出と適正使用支援システムの構築	渡辺賢治	環境情報学部	52,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	森川康英	医学部臨床教室	600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
在宅拠点の質の向上のための介入に資する、活動性の客観的評価に関する研究	池上直己	医学部基礎教室	2,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
筋骨格系慢性疼痛の疫学および病態に関する包括的研究(指定型)	戸山芳昭	役員	24,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	戸山芳昭	役員	116,615,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術標準化に関する研究	吉村泰典	医学部臨床教室	43,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
更年期障害に対する加味逍遙散のプラセボ対照二重盲検群間比較試験	吉村泰典	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
IgG4関連疾患に関する調査研究	日比紀文	医学部	1,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	日比紀文	医学部	4,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫難病に対する先駆的治療薬開発—生物製剤を中心とした早期臨床試験拠点の医・薬集学的整備によるFIMの実施とPOCの確立	日比紀文	医学部	109,200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
腸管希少難病群の疫学、病態、診断、治療の相同性と相違性から見た包括的研究	日比紀文	医学部	69,300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性炎症性腸疾患のゲノムおよびエピゲノム解析による病因・病態治療抵抗性機序の解明	日比紀文	医学部	4,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
重症型のレンサ球菌・肺炎球菌感染症に対するサーベランスの構築と病因解析、その診断・治療に関する研究	岩田敏	医学部	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
入浴関連事故の実態把握及び予防対策に関する研究	堀進悟	医学部臨床教室	6,400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
人工血小板/H12(ADP)リポソーム:臨床研究への移行を目指した品質管理と薬物試験	半田誠	医学部クラスター部門	25,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究	末岡浩	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ミトコンドリア病の診断と治療に関する調査研究	末岡浩	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
重症型のレンサ球菌・肺炎球菌感染症に対するサーベランスの構築と病因解析、その診断・治療に関する研究	藤島清太郎	医学部	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
鍼灸の作用機序に関する科学的根拠の確立と神経内科専門医と連携した鍼灸活用ガイドラインの作成	鈴木則宏	医学部臨床教室	12,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
免疫性神経疾患に関する調査研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	850,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
分野横断型全国コンソーシアムによる先天異常症の遺伝要因の 解明と遺伝子ネットワークの形成	工藤純	医学部共同利用研究室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
皮膚バリア障害によるアレルギーマーカー発症機序解明に関する 研究	工藤純	医学部共同利用研究室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
VATER症候群の臨床診断基準の確立と新基準にもとづく有病 率調査およびDNAバンク・iPS細胞の確立	工藤純	医学部共同利用研究室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究	久慈直昭	医学部臨床教室	3,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助 医療技術標準化に関する研究	久慈直昭	医学部臨床教室	2,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
国内で流行するHIV遺伝子型および薬剤耐性株の動向把握と治 療方法の確立に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	43,668,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	30,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
HPV検査の子宮頸がん検診への導入に向けての検討	青木大輔	医学部臨床教室	11,440,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断 基準作成	小川郁	医学部臨床教室	400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
他覚的耳鳴検査の開発と耳鳴りハビリテーション法の確立	小川郁	医学部臨床教室	12,249,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
遺伝性難聴および外耳、中耳、内耳奇形に関する調査研究	小川郁	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
急性高度難聴に関する調査研究	小川郁	医学部臨床教室	11,700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
精神疾患の病態診断と治療評価のためのイメージングバイオ マーカーの開発と臨床応用	加藤元一郎	医学部臨床教室	1,840,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
血液凝固異常性に関する調査研究	村田満	医学部臨床教室	68,900,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
非血縁者間同種末梢血管細胞移植開始におけるドナーおよび レシピエントの安全性と移植成績向上に関する研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
特発性造血管障害に関する調査研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	1,600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治 療方針の確立に関する研究	大家基嗣	医学部臨床教室	130,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法 の開発	大家基嗣	医学部臨床教室	400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
関節リウマチにおける骨髄・骨格形成細胞間ネットワークの解明 と根治療法の開発	松尾光一	医学部共同利用研究室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
人工血小板/ADP(H12)リポソーム:臨床研究への移行を目指 した品質管理と薬物試験	鎌田徹治	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
VATER症候群の臨床診断基準の確立と新基準にもとづく有病 率調査およびDNAバンク・iPS細胞の確立	星野健	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
小児がんの罹患数把握および晩期合併症・二次がんの実態把 握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究	黒田達夫	医学部臨床教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
腸管不全に対する小腸移植技術の確立に関する研究	黒田達夫	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
胎児・新生児肺低形成の診断・治療実態に関する調査研究	黒田達夫	医学部臨床教室	1,400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
リンパ管腫症の全国症例数把握及び診断・治療法の開発に関する研究	黒田達夫	医学部臨床教室	900,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	黒田達夫	医学部臨床教室	1,600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
神経フェリチン症の実態調査と診断基準の構築に関する研究	百島祐貴	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
大量出血症例に対する最適輸血療法の確立に関する研究	志水秀行	医学部臨床教室	350,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
在宅拠点の質の向上のための介入に資する、活動性の客観的評価に関する研究	武林亨	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	武林亨	医学部基礎教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
在宅医療・介護の連携における情報通信技術(ICT)活用に関する研究	武林亨	医学部基礎教室	6,750,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
緩和ケアプログラムによる地域介入研究	武林亨	医学部基礎教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
がん性疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究	武林亨	医学部基礎教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
機能性ディスペプシアに対する六君子湯の有効性・安全性の科学的エビデンスを創出するための多施設共同二重盲検無作為化プラセボ対照比較試験	武林亨	医学部基礎教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
福腎ホルモン産生異常に関する調査研究	柴田洋孝	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
筋骨格系慢性疼痛の疫学および病態に関する包括的研究	大西幸	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
全ゲノムエクソン配列解析法による先天性内分泌疾患の分子基盤の解析	長谷川奉延	医学部臨床教室	84,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
フォン・ヒッペル・リンドウ病の診療指針に基づく診断治療体制確立の研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
レリーワイル症候群の診断法確立と医療指針作成	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
血液凝固異常症に関する調査研究	横山健次	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
スモンに関する調査研究	里宇明元	医学部臨床教室	700,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
多関節障害重症RA患者に対する総合的関節機能再建治療法の検討と治療ガイドライン確立	里宇明元	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
機能性ディスペプシアに対する六君子湯の有効性・安全性の科学的エビデンスを創出するための多施設共同二重盲検無作為化プラセボ対照比較試験	鈴木秀和	医学部臨床教室	48,741,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
皮膚バリア障害によるアレルギーマーカー発症機序解明に関する研究	天谷雅行	医学部臨床教室	35,674,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
希少難治性皮膚疾患に関する調査研究	天谷雅行	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
妊娠を起点とした将来の女性および次世代の糖尿病・メタボリック症候群発病予防のための研究	宮越敬	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に関する研究	松本守雄	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	松本守雄	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	森岡秀夫	医学部臨床教室	220,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
幹細胞の足場応答からみえてくる幹細胞維持機構の解析	浜谷敏生	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
全ゲノムエクソン配列解析法による先天性内分泌疾患の分子基盤の解析	石井智弘	医学部臨床教室	8,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	桑名正隆	医学部臨床教室	1,600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ベーチェット病に関する調査研究	桑名正隆	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究	桑名正隆	医学部臨床教室	3,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
血液凝固異常症に関する調査研究	桑名正隆	医学部臨床教室	2,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
関節リウマチにおける骨髄・骨格形成細胞間ネットワークの解明と根治的治療法の開発	桑名正隆	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫疾患におけるT細胞サブセットの機能異常とその修復法の開発	桑名正隆	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための基盤構築に関する研究	岡野栄之	医学部基礎教室	100,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
厚生労働省補助金 iPS細胞を利用した創薬研究支援事業	岡野栄之	医学部基礎教室	249,003,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
漢方薬による免疫がん微小環境の改善と作用機序の解明	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	16,900,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫難病に対する先駆的治療薬開発—生物製剤を中心とした早期臨床試験拠点の医・薬集学的整備によるFIMの実施とPOCの確立	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	13,125,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
がん登録から見たがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究—診療動向と治療成績の変化—	北川雄光	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性血管炎に関する調査研究	岡田保典	医学部基礎教室	1,800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
浸潤・転移等、がんの重要な臨床的特性の病理・病態学分子基盤の解析とそれに基づく診断・治療法に資する研究	岡田保典	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
慢性期脳卒中患者における重度上肢機能障害に対する確信的治療法の実用化研究：ランダム化比較試験によるブレンマシニンインターフェース(BMI)リハビリテーションの効果の検討	藤原俊之	医学部臨床教室	30,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
がん登録から見たがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究—診療動向と治療成績の変化—	小松浩子	看護医療学部	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	小松浩子	看護医療学部	5,463,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
VATER症候群の臨床診断基準の確立と新基準にもとづく有病率調査およびDNAバンク・iPS細胞の確立	赤松和土	医学部基礎教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
分野横断型全国コンソーシアムによる先天異常症の遺伝要因の解明と遺伝子ネットワークの形成	赤松和土	医学部基礎教室	1,200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
先天性異常の疾患群の治療方針と治療法開発をめざした情報・検体共有のフレームワークの確立	赤松和土	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
全ゲノムエクソン配列解析法による先天性内分泌疾患の分子基盤の解析	鳴海覚志	医学部寄附講座	8,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
固形がんに対する抗CCR4抗体療法第 I a/ I b相医師主導治験	船越建	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
新規消化管ペプチドグレリンによる慢性腎臓病新規治療戦略の確立	伊藤裕	医学部臨床教室	24,723,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
脂肪萎縮症に関する調査研究	伊藤裕	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腎性インスリン抵抗性症候群に基づく慢性腎臓病新規治療戦略の確立	伊藤裕	医学部臨床教室	54,600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
患者会を中心とした肺高血圧症の前向き症例登録研究の開発と予後調査	田村雄一	医学部寄附講座	14,400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
固形がん幹細胞を標的とした革新的治療法の開発に関する研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	10,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	850,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫難病に対する先駆的治療薬開発—生物製剤を中心とした早期臨床試験拠点の医・薬集学的整備によるFIMの実施とPOCの確立	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	13,125,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
先天性異常の疾患群の治療方針と治療法開発をめざした情報・検体共有のフレームワークの確立	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
肝炎ウイルスによる肝疾患発症の宿主要因と発症予防に関する研究	杉山和夫	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
VATER症候群の臨床診断基準の確立と新基準にもとづく有病率調査およびDNAバンク・iPS細胞の確立	加部泰明	医学部基礎教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
分野横断型全国コンソーシアムによる先天異常症の遺伝要因の解明と遺伝子ネットワークの形成	谷口善仁	医学部基礎教室	1,200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
VATER症候群の臨床診断基準の確立と新基準にもとづく有病率調査およびDNAバンク・iPS細胞の確立	谷口善仁	医学部基礎教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究	岡村智教	医学部基礎教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
特定健康保険指導における地域診断と保健指導実施効果の包括的な評価および今後の適切な制度運営に向けた課題克服に関する研究	岡村智教	医学部基礎教室	245,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
特定検診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	岡村智教	医学部基礎教室	450,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
各種禁煙対策の経済影響に関する研究-医療費分析と費用効果分析-	岡村智教	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
大規模コホート共同研究の発展による危険因子管理の優先順位の把握と個人リスク評価に関するエビデンスの構築	岡村智教	医学部基礎教室	25,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
呼吸不全に関する調査研究	別役智子	医学部臨床教室	600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究	矢永由里子	医学部クラスター部門	1,600,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
がんのリハビリテーション ガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	15,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
漢方方剤「抑肝散」によるアルツハイマー病BPSD軽減効果検証-プラセボ対照無作為化臨床第2相比較試験-	伊東大介	医学部臨床教室	250,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法確立に関する研究	長谷川博俊	医学部臨床教室	100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	関口進一郎	医学部臨床教室	300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
多量出血症例に対する最適輸血療法の確立に関する研究	香取信之	医学部臨床教室	450,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
同種造血幹細胞移植後のWOL向上のための体制についての研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	200,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委
がんワクチンや免疫モニターに利用する腫瘍抗原の同定	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	1,000,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委
胸部食道がん手術における口腔ケア/周術期リハビリ介入による術後肺炎予防効果の検討	北川雄光	医学部臨床教室	450,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委
予後不良な漿膜浸潤胃癌(T3, T4胃癌)の治療向上を目指す多施設共同試験	北川雄光	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規分子標的治療薬の開発に関する研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	2,700,000 円	補 国立がんセンター 委 ○
脂肪滴とC形肝炎との関連の解明	杉山和夫	医学部臨床教室	1,050,000 円	補 国立がんセンター 委 ○
タモキシフェンの遺伝子多型研究と薬理動態試験	谷川原祐介	医学部臨床教室	1,050,000 円	補 国立がんセンター 委 ○
進行がん・末期がん患者に対するリハビリテーションの効果	辻哲也	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 国立がんセンター 委 ○
食道がんの周術期リハビリ介入による肺炎予防の効果ならびに患者QOLに関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	450,000 円	補 国立がんセンター 委 ○
わが国におけるResearch IND制度の構築に関する研究	今村知世	医学部臨床教室	700,000 円	補 国立がんセンター 委 ○
液性因子による変性骨格筋の再生療法の開発	福田恵一	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 国立精神・神経センター 委 ○
感情障害の神経学的機序に関する研究	三村将	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 国立精神・神経センター 委 ○
うつ病における認知機能障害の経時的変化に関する近赤外線スペクトロスコピー(NIRS)を用いた検討	三村将	医学部臨床教室	1,200,000 円	補 国立精神・神経センター 委 ○
神経変性に対する免疫学的介入研究	吉村昭彦	医学部基礎教室	700,000 円	補 国立精神・神経センター 委 ○
子宮体癌に対するmicroRNAを用いた医薬および診断法に関する基盤的研究	阪笠浩司	医学部総合医科学研究センター	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 小林がん学術振興会 委 ○
神経網膜における可溶性Vegfr2の機能の解明	久保田義顕	医学部総合医科学研究センター	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団 委 ○
天疱瘡自己抗原デスマogleイン3に対するT細胞抹消性免疫寛容機構の解析	高橋勇人	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団 委 ○
小脳系神経回路における特異的シナプス結合の分子機構	桑子賢一郎	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団 委 ○
組織損傷と炎症におけるペルオキシレドキシンの機能解明	七田崇	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団 委 ○
肺癌切除症例に対する門注療法およびゲムシタピンを用いた術後補助療法に第II相試験(他施設共同臨床試験)	北郷実	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 がん集学的治療研究財団 委 ○
嗅覚(芳香)刺激量を与える自律神経機能の経時的変化	神崎晶	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 コスメロジ研究振興財団 委 ○
指定寄附	福田恵一	医学部臨床教室	110,000 円	補 ○ 財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター 委 ○
指定寄附	福田恵一	医学部臨床教室	260,000 円	補 ○ 財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター 委 ○
大腸の癌化における必須遺伝子変異の同定	佐藤俊朗	医学部総合医科学研究センター	10,000,000 円	補 ○ 財団法人 井上科学振興財団 委 ○
指定寄附	井上詠	医学部中央診療施設等	10,000,000 円	補 ○ 財団法人 井上科学振興財団 委 ○
大脳皮質の発生・分化機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 ○ 財団法人 井上科学振興財団 委 ○
指定寄附	鈴木秀和	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 財団法人 喫煙科学研究財団 委 ○
指定寄附	藤井多久磨	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 財団法人 喫煙科学研究財団 委 ○
ペントラキシン3を用いた肺高血圧症の早期発見	田村雄一	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 興和生命科学振興財団 委 ○
新奇あるいは稀なEGFR遺伝子変異を有する肺癌の、EGFR tyrosine kinase 阻害剤への薬剤感受性予測検査とその臨床応用	安田浩之	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 黒住医学研究振興財団 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血管脳関門の強度を規定する因子の遺伝子学的解析	菅田浩司	医学部総合医科学研究センター	4,000,000 円	補 〇 財団法人 三菱財団 委
核内Argonaute蛋白質Pwiと小分子RNAによるエピジェネティックコードの確立の分子機構	齋藤都暁	医学部総合医科学研究センター	3,000,000 円	補 〇 財団法人 持田記念医学薬学振興財団 委
D-アミノ酸オキシダーゼの発現調節を標的とした筋委縮性側索硬化症の新規治療法開発	笹部潤平	医学部総合医科学研究センター	3,000,000 円	補 〇 財団法人 持田記念医学薬学振興財団 委
ヘルパーT細胞の運命決定を担うエピジェネティック制御機構の解明	関谷高史	医学部総合医科学研究センター	3,000,000 円	補 〇 財団法人 持田記念医学薬学振興財団 委
表皮タイトジャンクションバリア恒常性維持機構の解明を通じた、アトピー性皮膚炎の病態制御方法の探索	久保亮治	医学部総合医科学研究センター	3,000,000 円	補 〇 財団法人 持田記念医学薬学振興財団 委
血液脳関門を制御する分子機構の、生体レベルでのゲノム網羅的な解析	菅田浩司	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 持田記念医学薬学振興財団 委
慢性腎不全に伴う動脈硬化性石灰化病変形成におけるエピジェネティック制御機構の解明と治療応用	吉田理	医学部クラスター部門	3,000,000 円	補 〇 財団法人 持田記念医学薬学振興財団 委
多発性硬化症の発症機序の解明	中原仁	医学部総合医科学研究センター	2,000,000 円	補 〇 財団法人 上原記念生命科学財団 委
運動神経変性におけるExosome機能異常解析	西本祥仁	医学部基礎教室	3,400,000 円	補 〇 財団法人 上原記念生命科学財団 委
心血管ホルモンを用いた時間制御技術の開発	伊藤裕	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 〇 財団法人 上原記念生命科学財団 委
サイトカインによる細胞制御システムの解明	吉村昭彦	医学部基礎教室	5,000,000 円	補 〇 財団法人 上原記念生命科学財団 委
網膜・脈絡膜の正常・病的血管形成	長谷川英一	医学部基礎教室	4,000,000 円	補 〇 財団法人 上原記念生命科学財団 委
心臓病のトランスレーショナルリサーチ	福田恵一	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 成人血管病研究振興財団 委
生活習慣病合併症の発症予防ワクチンの基礎開発とその有用性の評価	篠村裕之	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人 千代田健康開発事業団 委
後期高齢期以降の健康維持・増進を目的とした持続可能な身体活動プログラムの開発	小熊祐子	スポーツ医学研究センター	1,000,000 円	補 〇 財団法人 千代田健康開発事業団 委
損傷脳における炎症は必要か？不必要か？- OPNIに焦点をあてて -	池島宏子	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人 倉田記念国立科学技術財団 委
超長寿齧歯類ハダカデバネズミにおける積極的老化耐性機構の解明	三浦恭子	医学部基礎教室	1,100,000 円	補 〇 財団法人 倉田記念国立科学技術財団 委
更年期女性のための自己健康管理を目的としたICTシステムの構築	平沢晃	医学部臨床教室	900,000 円	補 〇 財団法人 総合健康推進財団 委
新規癌治療戦略開発を目指した分裂後期促進複合体(APC/C)の活性制御機構解明	國仲慎治	医学部附属先端医科学研究研究所	500,000 円	補 〇 財団法人 大阪癌研究会 委
ビジネスパーソンにおける潜在的睡眠時無呼吸症候群に関する調査研究	福永興彦	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人 大和証券ヘルス財団 委
大規模レジストリーによる心房細動患者の脳梗塞予防のための最適な抗凝固療法の確立	高月誠司	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人 大和証券ヘルス財団 委
インスリン非使用2型糖尿病患者における自己血糖測定の影響	目黒周	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人 大和証券ヘルス財団 委
抗がん治療耐性前立腺癌に対する、相補的シグナル伝達機構の制御を念頭にいた新規治療戦略	小坂威雄	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人 大和証券ヘルス財団 委
抗精神病薬による脳内D2受容体占拠率の予測研究:個人差に注目して	内田裕之	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人 中富健康科学振興財団 委
血小板因子CLEC-2を介した骨髄ニッチの制御機構の解析	石津綾子	医学部総合医科学研究センター	6,000,000 円	補 〇 財団法人 内藤記念科学振興財団 委
新規強皮症モデルマウスを用いた病的線維化における単球の役割の追究	安岡秀剛	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人 日本リウマチ財団 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
日本人におけるヒト膵β細胞量と出生時体重、過去の肥満歴、およびβ細胞機能との関連についての検討	税所芳史	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人 日本糖尿病財団 委
内耳障害におけるオートファジー機構の解明について	神崎晶	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
心筋細胞分化におけるエピジェネティクスによる代謝制御の解明	藤田淳	医学部寄附講座	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
細胞除去/全肝マトリックスを基盤とし間葉系幹細胞・肝細胞を用いた新しい移植グラフトの開発と肝再生医療への応用	八木洋	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
筋萎縮性側索硬化症におけるD-セリン上昇メカニズムの解明と新規治療標的の開発	笹部潤平	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
新規自己免疫性難聴モデルマウスの樹立と解析による革新的な感音難聴治療法の探索	藤岡正人	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
難治性前立腺癌の微小環境応答と進展プロセスに着目した、包括的な新規治療戦略の確立	小坂威雄	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
2光子顕微鏡を用いたアストロサイト細胞内情報伝達の解析	塗谷陸生	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
血液脳関門の恒常性維持機構に関する遺伝学的解析	菅田浩司	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
SOCS1によるヘルパーT細胞分化制御機構の解明	森田林平	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
内因性硫化水素を介した骨代謝制御機構の解明	中村貴	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
新規分泌性シナプス分子による小脳神経回路形成制御機構の解明	掛川渉	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
多能性獲得過程の分子機構の解明	永松剛	医学部坂口光洋記念講座	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
超老化/癌化耐性ハダカデバネズミを利用した革新的アンチエイジング方法の開発	三浦恭子	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
組織由来内因性因子による炎症制御機構の解明	七田崇	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 〇 財団法人 武田科学振興財団 委
薬物胎内曝露が大脳皮質発生を障害するメカニズムの解明	三橋隆行	医学部臨床教室	1,200,000 円	補 〇 財団法人 母子健康協会 委
近位尿管SIRT1によるポドサイト機能制御機構の解明—糖尿病性腎症発症における検討	長谷川一宏	医学部寄附講座	2,000,000 円	補 〇 財団法人 万有生命科学振興国際交流財団 委
IPS細胞による遺伝性QT延長症候群の解析	湯浅慎介	医学部総合医科学研究センター	1,000,000 円	補 〇 財団法人 木村記念循環器財団 委
指定寄附	高橋常浩	医学部クラスター部門	240,000 円	補 〇 財団法人がん集学的治療研究財団 委
指定寄附	高橋常浩	医学部クラスター部門	280,000 円	補 〇 財団法人がん集学的治療研究財団 委
Stage II / Stage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討 (JFMC41-1001-Q2)	長谷川博俊	医学部臨床教室	325,500 円	補 〇 財団法人がん集学的治療研究財団 委
指定寄附	長谷川博俊	医学部臨床教室	5,000 円	補 〇 財団法人がん集学的治療研究財団 委
不明	松原由美子	医学部臨床教室	300,000 円	補 〇 財団法人テルモ科学技術振興財団 委
潰瘍性大腸炎患者に対するBifidobacterium breve Yakult株使用は、酵乳の寛解維持効果: 多施設共同ランダム化比較試験(B-FLORA)	金井隆典	医学部臨床教室	70,000 円	補 〇 財団法人バブリックヘルスリサーチセンター 委
小分子RNAによるトランスポゾン制御のエピジェネティクス	齋藤都暁	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 〇 財団法人伊藤科学振興会 委
揮発性短鎖脂肪酸およびモノカルボン酸受容体の系統的探索と医学応用	末松誠	医学部基礎教室	2,235,294 円	補 〇 財団法人糧食研究会 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
指定寄附	吉村公雄	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 〇 社会医療法人財団白十字会 委
注意を向けた先の音を聴く;ブレインマシンインタフェースを応用した視聴覚統合技術の研究開発	四本裕子	研究連携推進本部	8,131,500 円	補 〇 総務省 委
糖尿病性腎症予防ワクチンの基礎開発と有用性の評価	篠村裕之	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 〇 東京都 委
災害時に肺高血圧症治療を中断させないための診療ネットワーク(Tokyo PH Network)の構築	田村雄一	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 〇 東京都 委
三宅島帰島後健康診断(呼吸器系)データ分析	大前和幸	医学部基礎教室	3,283,483 円	補 〇 東京都三宅島三宅村長 委
ヒト遺伝学的検査(先天異常分野)	小崎健次郎	医学部クラスター部門	1,020,000 円	補 〇 特定非営利活動法人 オーファンネット・ジャパン 委
心を生み出す神経基盤の遺伝学的解析の戦略的展開 内閣府先端研究助成基金助成金 最先端研究開発支援プログラム「心を生み出す神経基盤の遺伝学的解析」(研究開発事業経費・経脳/心の進化と疾患(心を生み出す神経基盤の遺伝学的解析の戦略的展開))	岡野栄之	医学部基礎教室	158,201,557 円	補 〇 内閣府 委
心を生み出す神経基盤の遺伝学的解析の戦略的展開	岡野栄之	医学部基礎教室	4,116,000 円	補 〇 内閣府 委
骨ネットワーク医学の分子基盤の解明と臨床応用	竹田秀	医学部寄附講座	67,340,000 円	補 〇 内閣府 委
トランスポゾンと他の遺伝子を区別する仕組みーゲノムにおける自己と非自己認識システムー	齋藤都暁	医学部基礎教室	60,840,000 円	補 〇 内閣府 委
細胞分裂制御(対称・非対称分裂)の操作による造血幹細胞増幅	新井文用	医学部坂口光洋記念講座	22,698,000 円	補 〇 内閣府 委
ルテイン食による眼の健康医学のための基盤研究	坪田一男	医学部臨床教室	19,900,000 円	補 〇 農林水産省 委
卵子の加齢メカニズムの解明～生殖補助医療の向上を目指して～	福永朝子	医学部	1,820,000 円	補 〇 文部科学省 委
耳鳴の病態解明、治療予後予測のためのBDNFを用いた客観的評価法の開発	斎藤知子	医学部	2,340,000 円	補 〇 文部科学省 委
TSH受容体とDUOX2の二重変異は先天性甲状腺機能低下症の病因となりうるか?	諏訪内亜由子	医学部	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
線維芽細胞凝集塊形成による幹細胞形成機構の解明	清水瑠加	医学部	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
組織低酸素イメージングを応用した肺癌の悪性度解析ー病理所見との対比	安楽真樹	医学部	1,690,000 円	補 〇 文部科学省 委
マウス皮膚創傷治癒において好中球エラスターゼが及ぼす効果の解析	大津貴子	医学部	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
糖尿病マウスにおける涙液分泌減少のメカニズム解明	玉木修作	医学部	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
肺癌の分子標的治療薬・放射線併用療法の基礎的研究	関智史	医学部	2,340,000 円	補 〇 文部科学省 委
気管支喘息における線溶系システムの関与と治療応用	續敬之	医学部	1,690,000 円	補 〇 文部科学省 委
ドライアイの疾患メカニズムの解明	坪田一男	医学部臨床教室	4,550,000 円	補 〇 文部科学省 委
Tissue Biology の基盤形成による癌の病態解明と革新的診断・治療法の開発	坂元亨宇	医学部基礎教室	9,000,000 円	補 〇 文部科学省 委
「分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発」(肝がんの多施設検体コホートに基づく難治性規定分子の同定と分子標的治療の開発における分子病理診断マーカーの開発)	坂元亨宇	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 〇 文部科学省 委
ドナー由来間葉系幹細胞による眼慢性移植片対宿主病の発症機構と新規治療法の開発	小川葉子	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 〇 文部科学省 委
乳癌における内分泌治療耐性機序の解明とその臨床応用	神野浩光	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 〇 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腸炎惹起性記憶T細胞reprogramming細胞療法への挑戦	金井隆典	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 〇 文部科学省 委
腸内細菌パターンの決定因子の同定と腸内細菌パターン戦前化計画	金井隆典	医学部臨床教室	4,550,000 円	補 〇 文部科学省 委
腸内細菌パターンの決定因子の同定と腸内細菌パターン戦前化計画	金井隆典	医学部臨床教室	5,330,000 円	補 〇 文部科学省 委
運転者、とくに高齢運転者の安全に関わる視覚機能の解明	根岸一乃	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 〇 文部科学省 委
喫煙(ニコチン)が骨代謝に及ぼす影響に関する実験的研究	佐藤和毅	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
皮膚由来多能性前駆細胞から角膜内皮細胞への分化誘導	榛村重人	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 〇 文部科学省 委
多発性筋炎/皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺炎の病態解析と新規治療に関する研究	亀田秀人	医学部臨床教室	650,000 円	補 〇 文部科学省 委
急性呼吸不全における低分子G蛋白Rap1の役割と治療応用の可能性	田坂定智	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 〇 文部科学省 委
ES/iPS細胞の腎尿管への分化誘導系を用いた腎疾患進展機構の解明	門川俊明	医学部医学教育統轄センター	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
HSP27を標的とした新しい大腸癌治療法の開発	石井良幸	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
婦人科癌転移の特異的糖鎖構造解析と認識糖鎖抗原をターゲットとする新規治療抗体の開発	鈴木淳	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
骨髄腫幹細胞の同定と機能解析	宮川義隆	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 〇 文部科学省 委
免疫学的介入による心筋梗塞後リモデリング予防法の開発	佐野元昭	医学部臨床教室	6,500,000 円	補 〇 文部科学省 委
心腎ストレス応答分子としてのL-PGDSの役割	佐野元昭	医学部臨床教室	3,770,000 円	補 〇 文部科学省 委
超音波励起ラジカル生成を利用したチタン合金ステント内再狭窄抑制法の開発	板野理	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
細胞内動態を応用した新規DDSナノキャリアーの検討	板野理	医学部臨床教室	3,380,000 円	補 〇 文部科学省 委
ケモカインネットワークに着目した食道癌の新しい悪性度診断と治療法の開発	竹内裕也	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
自己抗原特異的IgMモノクローナル抗体による天疱瘡発症機序解明と治療法の開発	角田和之	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 〇 文部科学省 委
心臓拡張機能制御の解明および生体内拡張機能可視化の確立	牧野伸司	医学部総合医科学研究センター	3,250,000 円	補 〇 文部科学省 委
心臓拡張機能制御の解明および生体内拡張機能可視化の確立	牧野伸司	医学部総合医科学研究センター	2,730,000 円	補 〇 文部科学省 委
末梢動脈疾患に対するステント内再狭窄予防のための低侵襲温度制御温熱治療の開発	尾原秀明	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
インターロイキン32の関節疾患における役割とその下流シグナルの解明	二木康夫	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
糖尿病モデルマウスにおける抗酸化物質ルテインによる網膜神経保護効果の解析	佐々木真理子	医学部臨床教室	910,000 円	補 〇 文部科学省 委
肺線維症における炎症性脂質メディエーターの有用性とその役割	福永興吉	医学部臨床教室	650,000 円	補 〇 文部科学省 委
sRAGEに着目した脳死移植時代のあらたな肝、小腸虚血再灌流障害抑制法の開発	篠田昌宏	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
筋・骨格形成および造血におけるシェディングの機能解析	堀内圭輔	医学部総合医科学研究センター	2,600,000 円	補 〇 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
筋・骨格形成および造血におけるシェディングの機能解析	堀内圭輔	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胎生期における肺血管の発生機構の分子生物学的解明と新規肺血管特異的の新生因子の探索	内田敬子	医学部	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト着床における子宮内膜上皮細胞の運動動態の解明と新規着床支援療法の確立	内田浩	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ランゲルハンス細胞が誘導する経皮液性免疫応答の制御機構	永尾圭介	医学部臨床教室	5,720,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ランゲルハンス細胞が誘導する経皮液性免疫応答の制御機構	永尾圭介	医学部臨床教室	4,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
中耳疾患と中耳発生における耳小骨の破骨細胞の数と局在に関する解析	神崎晶	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
オートファジー誘導による内耳保護作用の新規分子標的治療への応用	五島史行	医学部	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心筋へのリプログラミングを誘導するエピジェネティック因子、マイクロRNAの同定	家田真樹	医学部寄附講座	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リプログラミングによるヒト心臓線維芽細胞から心筋細胞への直接誘導	家田真樹	医学部寄附講座	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト人工多能性幹細胞を用いた心筋分化メカニズムの解明および細胞移植療法への最適化	村田光繁	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
RIAM欠損血小板を用いたインテグリン活性化の分子機構の解明	渡邊直英	医学部クラスター部門	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リン酸化プロテオーム解析による白血病細胞のリン酸化異常の解明および治療への応用	嶋田博之	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胃癌における上皮間葉移行(EMT)の解析による治療応用	和田則仁	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣癌における間質細胞・間葉系幹細胞による免疫抑制機構の解明と克服法の開発	岩田卓	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上皮間葉転換および幹細胞関連分子発現プロファイルに基づく口腔扁平上皮癌の新分類	筋生田整治	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
重度外傷・熱傷患者における免疫学的モニタリングによる臓器不全発症の予知	関根和彦	医学部臨床教室	4,030,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アトピー性皮膚炎原因候補遺伝子ma1の機能解析と皮膚炎発症の分子機構解明	塩濱愛子	医学部寄附講座	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
C型肝炎ウイルスと腫瘍ニッチ関連分子による肝癌幹細胞制御機構の解析	足立雅之	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
重症感染症におけるPGD2/CRT2を介する免疫機構の解明	石井誠	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸内細菌叢の免疫学的制御による代謝異常治療法の開発	入江潤一郎	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
クローン病における好中球殺菌機構の解析	松岡克善	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
一酸化炭素とアデニン受容体の相互作用による肺移植後拒絶反応軽減の基礎的研究	大塚崇	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リンパ管腫由来内皮細胞、モデル動物作成	藤野明浩	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮体癌の術後再発予測方法の開発	片岡史夫	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尋常性天疱瘡抗体の結合による表皮細胞内でのシグナル発生機序の解明	齋藤昌孝	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
定量的質量分析イメージング技術の確立による硫化水素依存性虚血脳病態制御機能の解明	菱木貴子	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
メタボリックシンドロームを合併した2型糖尿病患者における運動療法の体組成への影響	東宏一郎	医学部クラスター部門	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
関節リウマチにおける関節破壊予測因子の同定とテーラーメイド治療の実現	金子祐子	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
糖尿病における糖鎖修飾を介したミネラルコルチコイド受容体活性化機構の解明	栗原勲	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト大腸癌幹細胞の同定と標的治療の確立	佐藤俊朗	医学部総合医科学研究センター	4,160,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト大腸癌幹細胞の同定と標的治療の確立	佐藤俊朗	医学部総合医科学研究センター	9,490,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大腸上皮の癌化に伴う管腔形成異常メカニズムの解明	佐藤俊朗	医学部総合医科学研究センター	7,280,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳腫瘍新生血管を治療標的としたペプチドワクチン療法確立のための効果評価法の開発	植田良	医学部附属先端医科学研究研究所	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺移植後急性肺損傷における血管内皮セレクチン機能の解析	後藤太郎	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒルシスプルング病および類縁疾患の原因遺伝子解析と神経堤幹細胞移植治療	下島直樹	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
閉経後の椎間板変性機序解明に関する研究	細金直文	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生体内神経前駆細胞におけるp27Kip1の核内移行メカニズムに関する研究	三橋隆行	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト子宮内膜の生理機能および病態形成における上皮間葉転換の関与	古谷正敬	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞内カルシウムを光で操作できるマウスの開発	田中謙二	医学部寄附講座	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
オリゴデンドロサイトによる神経回路調節機能	田中謙二	医学部寄附講座	6,890,000 円	補 ○ 文部科学省 委
グリア細胞操作を起点とする神経活動変化と伝播様式解析	田中謙二	医学部寄附講座	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
口腔外科手術による中枢性感作の誘発に対する疼痛関連遺伝子多型の関連について	村岡渡	医学部	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト肝癌転移モデルを用いた分子標的治療薬の機能解明	トブンリン	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
原発性アルドステロン症患者における血中アルドステロン分泌促進因子の検討	小林佐紀子	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
急性肺障害におけるCTLA4を介したT細胞活性の重要性	中島剛	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
乳癌個別化治療を目指したHOXB9によるEMT誘導とDNA修復メカニズムの解明	林田哲	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
臨床応用を目指したブタ間葉系幹細胞移植による新しいSIRS制御戦略	八木洋	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ブタ脱細胞化技術と幹細胞の融合により三次元胆管・血管構造を有す新規移植肝臓の開発	八木洋	医学部臨床教室	7,540,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脊髄・脳グリオーマに対する分子標的療法の開発	岩波明生	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性骨・軟部腫瘍に対する新規分子標的療法の開発	須佐美知郎	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大気圧走査電子顕微鏡を用いた肺胞上皮におけるサーファクタント関連蛋白イメージング	松崎陽平	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
一塩基多型解析による子宮体癌幹細胞の個性診断	野村弘行	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
子宮体癌の免疫抑制分子の同定と発現解析	平尾薫丸	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
AMPKに着目した涙液分泌機構の解明とその制御	川島素子	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
眼内血管新生疾患におけるNrf2の役割	永井紀博	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
フーヅ提示法を基礎技術とした天疱瘡における自己抗体の解析	山上淳	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
進行性透析腎癌のmTOR阻害薬抵抗性の克服に向けた基礎研究	水野隆一	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
顔面神経麻痺に対する臨床応用が可能な遺伝子治療の開発	栗田昭宏	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シード線源を用いた化学小線源療法の開発	大橋俊夫	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
外科侵襲下における褐色脂肪細胞分化機構の解明と代謝亢進状態改善の試み	葉季久雄	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インスリン様成長因子による骨肉腫治療誘導型休眠状態の分子機構解明と克服	清水孝恒	医学部附属先端医科学研究	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
再生現象が制御する炎症調節機構の解明と、その制御	湯浅慎介	医学部総合医科学研究センター	4,810,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子を用いた心筋細胞分化誘導方法の開発	湯浅慎介	医学部総合医科学研究センター	8,060,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト胎児付属物由来間葉系細胞と心筋分化誘導分子による重症心不全治療の実現	岡本一真	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳室下帯特異的発現遺伝子の脳新皮質形成における役割の解明	荒巻道彦	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メチル化異常による先天奇形症候群における5-ヒドロキシメチルシトシンの役割の解明	山澤一樹	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リポドール塞栓術併用腎凍結治療の基礎的研究	井上政則	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性膠芽腫における放射線感受性の予測法開発と最適な線量分割法の基礎的検討	深田淳一	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
経頭蓋直流電気刺激による脳卒中患者への脳可塑性の誘導	新藤恵一郎	月が瀬リハビリテーションセンター	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
DNAマイクロアレイによる早期関節リウマチ病態形成分子の探索とその機能解析	竹内勤	医学部臨床教室	6,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委
毛髪を成長・維持させる重要遺伝子のノックダウンマウス作製による網羅的同定	渋谷和憲	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌関連疾患予測システムの開発と疾患パスウェイの研究	満山進	医学部共同利用研究室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨代謝におけるマイクロRNA生理機能の解明	福田亨	医学部臨床教室	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨組織におけるRNAヘリカーゼp68の機能解明	福田亨	医学部臨床教室	6,760,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚バリア関連200遺伝子の網羅的解読による新規アトピー性皮膚炎原因遺伝子の同定	佐々木貴史	医学部総合医科学研究センター	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「iPS細胞を用いた遺伝性心筋疾患の病態解明および治療法開発」(iPS細胞を用いた遺伝性不整脈の病態解明)	福田恵一	医学部臨床教室	37,060,000 円	補 ○ 文部科学省 委
疾患モデル動物を用いた病態解明と革新的治療法の開発	福田恵一	医学部臨床教室	19,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
BD FACS Aria III セルソーター	福田恵一	医学部臨床教室	30,423,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
たこつぼ型心筋症の分子機序の解明	福田恵一	医学部臨床教室	19,240,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「再生医療研究における倫理的課題の解決に関する研究」(再生医療研究に関わる研究者意識およびコンテンツの調査研究)	小崎健次郎	医学部クラスター部門	7,505,000 円	補 文部科学省 委 ○
アクアポリン4ノックアウトマウスを用いた新規視神経脊髄炎モデルの作製とその解析	阿部陽一郎	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
対象配列特異的シーケンシング法によるドラフトゲノムの効率的精度向上法の確立	清水厚志	医学部基礎教室	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚リーシュマニア感染モデルを用いた宿主microRNAシステムの機能解析	田邊将信	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性黒色腫のセンチネルリンパ節における免疫病態構築機構の解明と新規治療法の開発	桜井敏晴	医学部附属先端医科学研究	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞技術を用いた腫瘍幹細胞のリプログラミングによる小児難治性肉腫の治療開発	森川康英	医学部臨床教室	7,800,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸アメーバ症発症の一因としての腸内細菌産生物質の解析	小林正規	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インジウム肺の自然史および発生メカニズムの研究	大前和幸	医学部基礎教室	12,220,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子HOXD9の子宮頸癌における機能解析と新たな治療法の開発	塚崎克己	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
幹細胞への時空間的介入による雌性生殖器官の再構成と機能制御	吉村泰典	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
テニユアトラック普及・定着事業	清家篤	役員	45,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「細胞と代謝」の基盤研究を担う若手育成	清家篤	役員	185,365,385 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS由来再生心筋細胞移植の安全性評価	清家篤	役員	81,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
PhD躍動メディカルサイエンス人材養成	清家篤	役員	79,226,654 円	補 ○ 文部科学省 委
日中クレンジングは単に癖ではなく中枢性筋緊張抑制機能障害による	和嶋浩一	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性炎症による大腸発癌機構の解明	日比紀文	医学部臨床教室	24,050,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Fibrocyte浸潤による腸管線維化機序の解明と新規治療標的の探索	日比紀文	医学部臨床教室	3,770,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内胎仔発育遅延モデルにおけるネフロン数減少機序解明とその治療法の開発	粟津緑	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規水素吸入療法による院外心停止患者の予後改善を目指した臨床研究	堀進悟	医学部臨床教室	5,460,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規水素吸入療法による院外心停止患者の予後改善を目指した臨床研究	堀進悟	医学部臨床教室	6,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト疾患および体質個人差に関するゲノム多様性情報の統合データベース	清水信義	医学部基礎教室	4,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メダカHRAS悪性黒色腫モデルを用いた薬剤スクリーニング系の構築	松崎ゆり子	医学部附属先端医科学研究	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経膠腫における個別化治療の確立(特に術前化学療法への適応について)	吉田一成	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫細胞学的、再生医学的アプローチによる急性肺損傷の病態解明	藤島清太郎	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
片頭痛前兆大脳皮質拡張性抑制が神経障害性疼痛を惹起する脳可塑性と疼痛制御系の解明	鈴木則宏	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
PI3K/Akt/mTOR経路を標的とする放射線増感剤の開発－胃癌細胞での検討－	茂松直之	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
真の全エクソン解読を達成するための改良エクソーム解析法の開発	工藤純	医学部共同利用研究室	6,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立」(卵巣がんにおける化学療法効果規定因子の探索における検体集積)	青木大輔	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
機能的スクリーニング法を用いた子宮体癌関連マイクロRNAの探索と核酸医薬への応用	青木大輔	医学部臨床教室	4,810,000 円	補 ○ 文部科学省 委
時間・代謝制御に基づく腎臓病および高血圧の治療戦略	林晃一	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規自己免疫性難聴モデルマウスの解析による革新的な感音難聴治療法の探索	小川郁	医学部臨床教室	4,160,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規自己免疫性難聴モデルマウスの解析による革新的な感音難聴治療法の探索	小川郁	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内耳薬物動態に関する新しい解析法の確立	小川郁	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経前駆細胞の細胞周期恒常性維持にエピジェネティクス機構が果たす役割に関する研究	高橋孝雄	医学部臨床教室	6,110,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣明細胞腺癌に高発現するHNF-1βによるがん微小環境構築機構の解明	藤田知信	医学部附属先端医科学研究所	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
炎症性腸疾患の基盤的免疫学から臨床免疫内視鏡学の創成	岩男泰	医学部中央診療施設等	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非線形光学顕微鏡による水・脂質の直接観察に基づいた肺胞環境の維持・破綻機構の解明	池田一成	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細菌の鉄獲得機構阻害による静菌効果と臨床応用に向けた試み	森崎浩	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗凝療法、抗血小板療法における新規モニタリング指標の網羅的探索	村田満	医学部臨床教室	9,360,000 円	補 ○ 文部科学省 委
多施設共同レジストリの構築による急性心不全の病態把握の試み	吉川勉	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超拡大内視鏡によるリアルタイム炎症性腸疾患診断への挑戦	緒方晴彦	医学部クラスター部門	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト幹細胞培養システムを基盤とした小児重症心不全に対する新規治療法の構築	饗庭了	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性腎臓病の血管石灰化発症機序における転写調節因子の役割の解明と治療への応用	林松彦	医学部クラスター部門	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発」(系統的分子探索に立脚した細胞シミュレーション開発による臓器代謝モデル構築)	末松誠	医学部基礎教室	16,995,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨髄異形成症候群(5q-症候群)発症におけるATOX1遺伝子の役割	中島秀明	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎細胞癌における上皮間葉転換に着目した新規標的分子の探索	大家基嗣	医学部臨床教室	3,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎細胞癌における上皮間葉転換に着目した新規標的分子の探索	大家基嗣	医学部臨床教室	4,420,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究」(チロシンキナーゼ阻害剤治療における新たな治療標的の同定、薬剤耐性の解明及び克服、有効性予測を可能にするゲノムプロファイルの同定)	大家基嗣	医学部臨床教室	25,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Pho85サイクリン依存性キナーゼによる環境ストレス応答と細胞周期制御の同調機構	西沢正文	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
改良型シグナルシークエンスストラップ法による雌性生殖幹細胞の新規蛋白質の探索	丸山哲夫	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内膜症・腺筋症における幹細胞の役割の解明	丸山哲夫	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
子宮内膜症・腺筋症における幹細胞の役割の解明	丸山哲夫	医学部臨床教室	4,160,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内膜癌に頻発するMMR機構異常に伴う腫瘍免疫変化と抗癌剤ホルモン剤感受性変化	進伸幸	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血管内皮前駆細胞が分泌する神経幹細胞の自己複製促進因子	並木淳	医学部臨床教室	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生体侵襲制御と組織修復・再生における骨髄由来細胞の機能解析	並木淳	医学部臨床教室	3,640,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新たなヒト・リンパ球ナチュラル・ヘルパー細胞の同定と疾患への関与	山田健人	医学部基礎教室	5,720,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脊椎動物に普遍的な骨石灰化制御機構の解明	松尾光一	医学部共同利用研究室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
KOA Facility の共用促進事業(補正予算分)	松尾光一	医学部共同利用研究室	128,947,000 円	補 ○ 文部科学省 委
KOA Facility の共用促進事業	松尾光一	医学部共同利用研究室	34,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
認知症と高次脳機能障害における運転能力の総合的評価	三村将	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
sTLRに着目した難病劇症肝不全に対する新治療法の開発と国際研究拠点の構築	田邊稔	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小児がん腫瘍幹細胞、循環腫瘍細胞ならびに微小転移細胞の細胞生物学的特性	黒田達夫	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小児がん腫瘍幹細胞、循環腫瘍細胞ならびに微小転移細胞の細胞生物学的特性	黒田達夫	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「重症高アンモニア血症を生じる先天性代謝異常症に対するヒト胚性幹(ES)細胞製剤に関する臨床研究」(先天性異常症に対するヒト胚性幹(ES)細胞製剤の移植法の開発)	黒田達夫	医学部臨床教室	3,800,000 円	補 文部科学省 委 ○
癌幹細胞の誤修復誘導による放射線増感を利用した新たな治療戦略の開発	川田哲也	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
京レベル抗体ライブラリーの開発とプロテオミクス解析基盤ツールの作製	高柳淳	医学部基礎教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
トキソプラズマ原虫に特異的なGTP-PKの基質供給経路の解明	浅井隆志	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨髄由来間葉系幹細胞を用いた閉塞性腎症に対する新規治療方法の確立	浅沼宏	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ホルモン不応性前立腺癌における、微小環境に着目したマイクロRNAの機能解析	宮嶋哲	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳腫瘍幹細胞抗原および微小環境を標的とした複合的免疫療法の開発	戸田正博	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳腫瘍幹細胞における幹細胞性制御因子の解析	戸田正博	医学部臨床教室	5,850,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カロリー制限によるミトコンドリア機能制御機構の解明	新村健	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
地域住民を対象とした生活習慣病疫学研究におけるメタボローム・プロファイル解析	武林亨	医学部基礎教室	4,810,000 円	補 ○ 文部科学省 委
地域住民を対象とした生活習慣病疫学研究におけるメタボローム・プロファイル解析	武林亨	医学部基礎教室	4,030,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心臓流出路を形成する細胞の発生分化と相互作用を制御する分子機構	山岸敬幸	医学部臨床教室	5,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
潰瘍性大腸炎におけるIgG形質細胞の病態関与の解明と新規治療法の開発	久松理一	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
頬骨骨折の新しい治療プロトコールの開発	緒方寿夫	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ミネラルコルチコイド受容体関連高血圧の分子病態の解明と新規治療法の確立	柴田洋孝	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
培養ヒト線維芽細胞・表皮角化細胞を用いた毛包再生	貴志和生	医学部臨床教室	5,460,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞凝集塊形成による線維芽細胞からの遺伝子操作を加えない幹細胞の作成	貴志和生	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
エピジェネティックに制御される遺伝子を標的とした子宮体癌に対するRNA医薬	阪埜浩司	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高血圧発症における「塩分メモリー」の解析とその分子機序の検討	篠村裕之	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
代謝ストレス応答を介したアストロサイトの糖尿病性脳症に対する保護機構の解明	高橋慎一	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトの意思決定の神経基盤研究—発症時パーキンソン病患者の行動経済学的解析—	高橋一司	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経膠腫における分子生物学的分類と個別化治療の確立	佐々木光	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内劣悪環境に起因する尿細管機能障害の検討	飛弾麻里子	医学部	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
救急医療体制の現状分析と最適化	鈴木昌	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
EMT(上皮間葉転換)を誘導する分子機構を標的とした頭頸部癌転移治療の研究	今西順久	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心臓・四肢発生におけるHand遺伝子の組織特異的相補性	前田潤	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新たに発見した“ナチュラルヘルパー細胞”の機能解明	小安重夫	医学部基礎教室	43,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
DUOX2遺伝子変異による先天性甲状腺機能低下症の有病率・臨床像・分子機序の解明	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脂肪細胞肥大化に伴う伸展刺激とRho/Rhoキナーゼ経路の肥満発症における意義	脇野修	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
頭質重量分析法による代謝物分布情報に基づく腫瘍不均一性の検証	涌井昌俊	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝、腎、副腎、軟部組織、骨における凍結治療時の温度変化と病理変化の研究	中塚誠之	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「日本の長所を活かしたBMIの統合的研究開発」(ブレイン・マシン・インターフェースの臨床応用を目指した医工連携プロジェクト—「機能代償システム」から「治療システム」へ—)	里宇明元	医学部臨床教室	48,000,000 円	補 ○ 文部科学省 ○
アパタイトナノキャリアを用いた胃癌のマイクロRNA治療の開発	鈴木秀和	医学部臨床教室	4,030,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非可逆性糖尿病性胃麻痺に対する神経幹細胞移植の開発	鈴木秀和	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マーモセット低侵襲脳梗塞モデルを用いた脳梗塞に対する細胞療法・神経再生治療の開発	原晃一	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
天疱瘡抗原に対する中枢性、末梢性免疫寛容機構の解明	天谷雅行	医学部臨床教室	43,290,000 円	補 ○ 文部科学省 委
染色体転座スクリーニングによる非小細胞肺癌における新規標的分子の同定	副島研造	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
呼吸運動のシミュレーション評価による、胸郭の欠損パターンに応じた至適再建法の解明	永竿智久	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子を制御した新規尿路上皮癌治療戦略の確立	菊地栄次	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣選択的プロテアーゼ“Prss35”の酵素特性と霊長類の卵巣内発現に関する検討	宮越敬	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
横紋筋細胞を用いた免疫沈降法による自己抗体検索の臨床応用に向けて	鈴木重明	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
整形外科領域の抗菌性生体材料の開発と感染性疾患の治療	石井賢	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
思春期特発性側弯症の進行予測モデルの確立	松本守雄	医学部臨床教室	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
思春期特発性側弯症の進行予測モデルの確立	松本守雄	医学部臨床教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性骨・軟部腫瘍に対するナノ粒子を用いた新規補助療法の開発	森岡秀夫	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生命始動と分化全能性獲得の遺伝子カスケード	浜谷敏生	医学部臨床教室	5,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Star欠損マウスのステロイドホルモン産生細胞におけるトランスクリプトーム解析	石井智弘	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトiPS技術を用いた網膜色素変性症に対する新規神経保護治療の開発に向けた研究	小澤洋子	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「再生医療の実現化を目指したヒトiPS細胞・ES細胞・体性幹細胞研究拠点」 (※「再生医療の実現化ハイウェイ」3課題含む。詳細は右記備考欄の通り)	岡野栄之	医学部基礎教室	963,278,479 円	補 ○ 文部科学省 委
幹細胞医学のための教育研究拠点	岡野栄之	医学部基礎教室	229,279,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「先端的遺伝子導入・改変技術による脳科学研究のための独自の霊長類モデルの開発と応用」(遺伝子改変コモンマウスモデルによるヒト神経疾患モデルの開発)	岡野栄之	医学部基礎教室	29,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「疾患特異的iPS細胞技術を用いた神経難病研究」	岡野栄之	医学部基礎教室	126,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗腫瘍免疫ネットワークのキー操作技術開発による効果的な複合がん免疫療法の構築	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	15,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「効果的な複合免疫療法の確立」	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	40,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト悪性黒色腫におけるmiRNAの機能解明と診断・治療法開発への応用	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳表人工膜内新生血管の脳梗塞予防・縮小効果	伊藤義彰	医学部臨床教室	260,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新しい質量分析イメージング法を用いた消化器癌リンパ節転移最初期に生じる現象の解明	北川雄光	医学部臨床教室	6,370,000 円	補 ○ 文部科学省 委
放射線抵抗性静止期癌細胞の損傷修復遺伝子抑制による新たな治療方法の開発	川口修	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
病的組織リモデリングにおけるメタロプロテアーゼの病理学的研究	岡田保典	医学部基礎教室	21,060,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヘモグロビン小胞体を用いたドナー肺の機能改善及び評価、保存	河野光智	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
1型糖尿病発症を制御するHybrid Tregの同定	島田朗	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非流暢性失語症における言語賦活領域に対する経頭蓋直流電気刺激の効果	藤原俊之	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
患者・家族を対象とした精神看護介入のニーズ分析とプロトコル開発	野末聖香	看護医療学部	6,240,000 円	補 ○ 文部科学省 委
外来で治療を受け続ける再発大腸がん患者の「生を繋いで行く力」支援プログラムの構築	新藤悦子	看護医療学部	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳波筋電図コヒーレンスのメカニズムを筋感覚フィードバックの視点から解明する	牛山潤一	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
SFジャンルに見る再生医療を中心とした生命科学の社会受容の研究	八代嘉美	医学部総合医科学研究センター	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
外来化学療法におけるオンコロジーエージェンシーの安全ケア保証統合システム開発	小松浩子	看護医療学部	8,710,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自宅で経口化学療法を続ける患者の服薬の実態解明と安全、確実な服薬支援モデル開発	矢ヶ崎香	看護医療学部	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
線維化における単球の役割	安岡秀剛	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝臓-腸管自然免疫細胞サーキュラーの破綻による自己免疫性肝臓炎症の本体	中本伸宏	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高度側弯形状に対する健全形状復元と三次元変形および左右非対称性の定量化手法の構築	桐山善守	医学部寄附講座	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗CCP抗体陰性の関節リウマチ患者における特異的自己抗体の網羅的探索	岩本卓士	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
発生期網膜における血管先端細胞と神経系細胞のクロストーク	久保田義顕	医学部総合医科学研究センター	26,260,000 円	補 ○ 文部科学省 委
創傷治癒血管新生の「質」を規定するメカニズムの解析	久保田義顕	医学部総合医科学研究センター	4,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
バルプロ酸ナトリウム胎内曝露が大脳皮質発生に与える影響に関する研究	下郷幸子	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣癌の薬物応答に関与する新規バイオマーカーの特定	山上亘	医学部臨床教室	3,250,000 円	補 ○ 文部科学省 委
加齢黄斑変性における網脈絡膜間物質輸送の解明	永井香奈子	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
涙腺上皮分泌顆粒とドライアイ発症機序	鴨居瑞加	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小胞体ストレスと加齢性難聴(病態別検討)	大石直樹	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト歯髄幹細胞特異マーカーによる予期的分離と性状解析	安居孝純	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトES・iPS内皮細胞誘導技術を用いた新規CKD病態メカニズムの解明	本間康一郎	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮頸癌発生に関する腔内変異原分子の探索と検知機器開発の基礎的検討	藤井多久磨	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脂肪誘導機能付加生体材料による組織欠損補填療法の開発	矢澤真樹	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高速スイッチング2重エネルギーCTの基礎的検討と臨床応用	陣崎雅弘	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
化学療法抵抗性大腸癌におけるCDX2およびチロシンキナーゼの相関とメカニズム	船越信介	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高齢者の食習慣と虚弱、骨粗鬆症、認知機能障害の発症に関する統合栄養疫学研究	高山美智代	医学部中央診療施設等	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚から直接誘導した神経幹細胞の移植治療効果と安全性の検討	赤松和土	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規MR転写共役因子の同定とその機能解析	横田健一	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス肺癌に対する凍結融解壊死療法は他部位転移巣にも発育抑制効果を及ぼす	黒田浩章	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
粘液線維肉腫の診断・予後関連バイオマーカーの開発	中山タラントロバート	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
たんぱく質不安定性を呈する新規TSH受容体変異V711fsの機能解析	鳴海覚志	医学部寄附講座	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
光障害に対するアンジオテンシンⅡ1型受容体阻害剤の網膜保護効果の解析	厚東隆志	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
加齢黄斑変性におけるAngptl2の関与	平沢学	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
天疱瘡の新治療に向けたIgGサブクラス解析とIgG4除去療法	船越建	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
PTEN遺伝子導入による膀胱癌の浸潤転移予防についての同所性モデルを用いた検討	松本一宏	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
頭頸部癌における上皮間葉移行の癌幹細胞調節機構	羽生昇	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
破骨細胞融合における新規細胞融合制御因子の解明	岩崎良太郎	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性疼痛に関わる感覚神経のネットワーク形成メカニズムの解明と治療法開発	芝田晋介	医学部基礎教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
EMT誘導因子をターゲットとした腎細胞癌の分子標的治療	三上修治	医学部中央診療施設等	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経幹細胞の組織特異的な初期化	島崎琢也	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
幹細胞から神経・グリアへの分化機構解明	島崎琢也	医学部基礎教室	15,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
間葉系幹細胞の体内遊走機能の解明	松崎有未	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
歯周組織幹細胞からみた慢性歯周炎組織破壊と組織リモデリング機序の解明	中川種昭	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Th17細胞分化におけるPI3K-Akt-mTORC1経路による制御機構の解明	永井重徳	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
誘導多能性幹細胞由来心筋細胞の機能解析および質の検討	大野洋平	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アルツハイマー病における細胞老化因子Eorg4の解析—受容体同定から創薬に向けて	久住呂友紀	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
周産期出血における子宮動脈NBCA リピオドール塞栓術の基礎研究	細川崇洋	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非侵襲的脳機能測定法を用いた脳室周囲白質軟化症における認知・発達メカニズムの解明	有光威志	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
顕微質量分析による新生児低酸素性脳症の代謝システムの制御解明と低体温療法法の最適化	武内俊樹	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血中ステロイド一斉測定による超早産児の副腎機能発達の評価	三輪雅之	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ハイリスクHPV型のタンパクを標的とした新たな分子標的治療に関する基礎的検討	大野暁子	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎細胞癌腫瘍免疫における芳香族炭化水素受容体発現の意義と機能解析	石田勝	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
トランスレーショナルリサーチに向けた小型霊長類コモンマーズットの聴覚障害モデル	藤岡正人	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内分泌臓器に対する凍結療法法の凍結解凍サイクルと至適プロトコールの検討	小黒草太	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
外科的侵襲後の敗血症性急性肺損傷モデルにおけるHMGB1の動態と治療法の開発	安倍晋也	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
軟骨細胞の遊走能に着目したヒト変形性関節症の病態解析	木村徳宏	医学部基礎教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
赤血球が刻む概日リズム測定系の開発	大澤要介	医学部基礎教室	4,290,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Claudin-1 遺伝子改変マウスによるポドサイト脱分化の解析	長谷川一宏	医学部寄附講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
配偶子形成過程におけるミトコンドリア関連遺伝子の網羅的探索と生殖補助医療への応用	佐藤卓	医学部臨床教室	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ニッチによるがん幹細胞制御機構の解析	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	33,930,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低真空分析走査電子顕微鏡システム	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	17,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
造血および白血病幹細胞ニッチの分子機構とその制御	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	13,910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳部位特異的な神経細胞の分化制御	仲嶋一範	医学部基礎教室	3,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
中枢神経系における神経細胞社会の構築機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	12,090,000 円	補 ○ 文部科学省 委
動いて脳を作る細胞群の動態制御機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	44,070,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「生涯に亘って心身の健康を支える脳の分子基盤、環境要因、その失調の解明」(発生過程の可視化による海馬と大脳新皮質の形成機構の解明)	仲嶋一範	医学部基礎教室	24,510,000 円	補 文部科学省 委 ○
食道癌における癌幹細胞の同定及び機能解析	福田和正	医学部寄附講座	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大脳皮質形成を制御する分子メカニズムの解明	久保健一郎	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ADAM28の分子作用機構解明と分子標的治療薬開発の基礎研究	望月早月	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
化学物質評価のためのヒト型P450を持つメダカの作製	吉岡範幸	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シナプス可塑性を支える新しいAMPA受容体輸送制御機構の解明	柚崎通介	医学部基礎教室	13,780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小脳をモデルとした糖鎖シグナルによる機能的・形態的シナプス可塑性制御	柚崎通介	医学部基礎教室	21,320,000 円	補 ○ 文部科学省 委
CHDファミリーによる神経幹細胞およびグリオーマ幹細胞制御機構の解明	大多茂樹	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素適応システムによる巨核球への分化・成熟過程の解析	田久保圭菅	医学部坂口光洋記念講座	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Phd/VHL/HIF-1制御系を介した白血病幹細胞の代謝特性解明と標的療法開発	田久保圭菅	医学部坂口光洋記念講座	7,020,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アストロサイト容積調節機構における酸素依存的アクアポリン4の機能制御機構	行武良哲	医学部総合医科学研究センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
プリオンタンパクの小胞輸送に関与するRAB11およびSGSMファミリーの機能解析	楊浩	先端研究センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アストロサイトによるin vivoケトン体合成機構の解明	中原仁	医学部総合医科学研究センター	8,060,000 円	補 ○ 文部科学省 委
筋萎縮性側索硬化症におけるLIN28の細胞生存寄与に関する研究	西本祥仁	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性黒色腫で特異的に発現するHistatin-1の機能解析、診断、治療への応用	谷口智憲	医学部附属先端医学研究所	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アンギオテンシン受容体阻害薬による活性化ヒト間葉系幹細胞による心臓再生医療	沼澤洋平	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト骨髄由来破骨細胞前駆細胞の同定、及び細胞株の樹立	古川満	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞を用いたPelizaeus-Merzbacher病の病態解明研究	黒岩佑子	医学部総合医科学研究センター	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
フェノーム解析を用いた子宮内膜幹細胞マーカーの探索	小田英之	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト卵管幹細胞の同定と解析	西川明花	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
エピジェネティックな調節に基づく子宮頸部腫瘍の病態解明アプローチ	村上功	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
単一細胞遺伝子増幅とCDNA再利用定量PCRを用いた卵子形成過程の遺伝子発現解析	持丸佳之	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
糖尿病網膜症におけるAMPKの役割	持丸博史	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上部尿路上皮癌におけるレニンアンギオテンシン系の制御を利用した新規治療の確立	田中伸之	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
パフィロマイシンを用いた表在性・浸潤性膀胱癌細胞に対する治療戦略の確立	吉峰俊輔	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
鼓膜全面の振動解析法確立に向けたレーザードップラープローブの開発	和佐野浩一郎	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
地域生活する統合失調症患者のサクセスフル・エイジング	新村秀人	医学部臨床教室	520,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌発生に並行する周囲間質細胞悪性転化メカニズムの解明	森川暁	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Cbln-1デルタ1グルタミン酸受容体系のシナプス可塑性における機能解明と精神疾患	幸田和久	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
分泌型シナプス形成因子と受容体の複合体によるシナプス分化及び神経回路構築機構	松田恵子	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ミトコンドリア分裂因子Drp1のメチル化修飾による細胞機能制御機構の解析	山本雄広	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞周期制御因子Cdh1不活化に伴う造血器及び造血器腫瘍における細胞脆弱性の解明	石澤丈	医学部寄附講座	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
フィラグリン欠損マウスを用いた、低湿度環境によるアトピー性皮膚炎発症機序の解明	川崎洋	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
mTOR複合体2に着目した抗癌剤抵抗性獲得膀胱癌に対する新規治療戦略の検討	白川洋	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌における孤在性浸潤の分子機構: 孤在性癌細胞に発現する分子の同定および機能解析	眞杉洋平	医学部中央診療施設等	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ロボットアームと感覚機能を有した歯科インプラントナビゲーションシステム	臼田慎	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TTP患者における抗ADAMTS13自己抗体高感度定量測定系の開発	猪狩敦子	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
排他的に発現する分子を、協調的に発現している抑制性神経細胞の由来特定	金谷繁明	医学部基礎教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
造血幹細胞における細胞競合を介した増殖制御機構の解明	細川健太郎	医学部総合医科学研究センター	7,020,000 円	補 ○ 文部科学省 委
造血幹細胞における細胞競合を介した増殖制御機構の解明	細川健太郎	医学部総合医科学研究センター	2,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
イムノグロブリンクラススイッチにおけるPI3Kによる制御機構の解析	藤猪英樹	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
日本および東南アジア諸国にみられる若年性心臓突然死の実態とその原因の解明	藤田眞幸	医学部基礎教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
日本および東南アジア諸国にみられる若年性心臓突然死の実態とその原因の解明	藤田眞幸	医学部基礎教室	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
さまざまな臓器からの培養線維芽細胞による毛包誘導	越智あみ	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肥厚性瘢痕モデルにおけるT細胞の機能	坂本好昭	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
リボソーム法を用いたIL-21・15遺伝子導入の併用による再発予防に関する研究	松島将史	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
膵臓癌株化細胞におけるTGF誘導Leftyの発現機序及び機能解析	宮田直輝	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 〇 文部科学省 委
腎疾患iPS細胞への応用のための腎構成細胞への分化誘導方法の確立	森寛隆司	医学部総合医科学研究センター	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
難治性前立腺癌の進展に着目したAKT-MTORシグナル経路制御による新規治療戦略	安水洋太	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
新鮮遺体を用いたMDCTによるリンパ管立体解剖の解析	山崎俊	医学部臨床教室	910,000 円	補 〇 文部科学省 委
成体由来幹細胞の分離技術・遺伝子導入技術を用いた歯牙・歯周組織再生	新部邦透	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 〇 文部科学省 委
癌細胞上のILT7/NKp44/BDCA2リガンド発現による免疫抑制機構の解明	塚本信夫	医学部附属先端医科学研究研究所	1,300,000 円	補 〇 文部科学省 委
インジウム等重金属曝露作業における酸化ストレスマーカーとの量影響関係	岩澤聡子	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
ダウン症モデルマウスを用いた新規心奇形原因遺伝子の同定	宮本憲一	医学部共同利用研究室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
単一葉系幹細胞の分裂機能制御と老化機構の解明	馬淵洋	医学部総合医科学研究センター	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
角膜輪部ニッチ様細胞と接する角膜輪部上皮タニニセルの解析	比嘉一成	医学部	1,690,000 円	補 〇 文部科学省 委
ケラチン12-蛍光タンパク質レポーターを用いた角膜上皮細胞への運命決定機構の解析	吉田悟	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 〇 文部科学省 委
関節リウマチの関節破壊を促進する単球と関節修復に関わる単球の解析	瀬田範行	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
質量分析イメージングおよびPET低酸素トレーサーによる治療抵抗性肺癌の代謝解明	木下智成	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 〇 文部科学省 委
線維芽細胞から心筋前駆細胞へのダイレクトリプログラミング	貞廣威太郎	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
臨床検体を用いた顕微質量分析法による消化器癌特異的代謝機構の可視化と解析	田中真之	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 〇 文部科学省 委
重症救急患者における易感染状態と臓器不全発症の関連性の解明	多村知剛	医学部臨床教室	3,250,000 円	補 〇 文部科学省 委
メタボローム解析による乳癌サブタイプ別の代謝特性の解析と新規個別化治療戦略の確立	松本暁子	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 〇 文部科学省 委
ES/iPS細胞におけるメカニカルストレスによるオルガネラ制御と細胞代謝・分化	伊藤裕	医学部臨床教室	3,770,000 円	補 〇 文部科学省 委
神経堤由来細胞が皮膚創傷治癒および組織の再生において果たす役割	青木朋子	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
C型肝炎ウイルス特異的CD8T細胞機能不全の網羅的解析	石橋由佳	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
ヒト間葉系幹細胞注入による乳房再建法の実現化に向けた基礎的エビデンスの創出	関朋子	医学部臨床教室	650,000 円	補 〇 文部科学省 委
間葉系幹細胞/肝細胞を融合したスフェア移植による新しい重症肝障害の治療戦略	星野剛	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 〇 文部科学省 委
網羅的遺伝子解析手法を用いたゲフィチニブ耐性化の機序の解明	寺井秀樹	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
糸球体上皮細胞における転写因子KLF4の役割の検討および蛋白尿治療への応用	林香	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
頭蓋底脊索腫の分子生物学的解析と予後因子の検討	北村洋平	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
直腸・肛門管切除後、薄筋移植による生理的排便機能獲得再建手術の開発	内川裕美子	医学部臨床教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
気象変化による片頭痛発作発症・増悪の要因と対策	岩下達雄	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
移植心における内因性心臓交感神経刺激細胞の生理機能の解析とヒト移植心への臨床応用	田村雄一	医学部寄附講座	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インジウム健診における肺拡散能検査の有効性の検討	中野真規子	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写抑制因子Blimp1によるエピジェネティック制御を介した破骨細胞分化制御機構	宮内芳輝	医学部寄附講座	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TOF-SIMS(飛行時間型質量分析)顕微鏡を用いた角質バリア機能可視化法の開発	久保亮治	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ランゲルハンス細胞と表皮タイトジャンクションによる動的表皮免疫バリア機構の解析	久保亮治	医学部総合医科学研究センター	12,480,000 円	補 ○ 文部科学省 委
治療抵抗性前立腺癌の進展と、がん微小環境応答に着目した新規治療戦略の確立	小坂威雄	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
人工癌幹細胞を用いた治療抵抗性克服戦略の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究研究所	33,930,000 円	補 ○ 文部科学省 委
グリオブラストーマ癌幹細胞モデルを用いた薬剤抵抗性及び浸潤性克服戦略の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究研究所	13,650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボリック症候群新規治療法を目指したβ酸化調節鍵因子AC/C2の発現制御機構解明	渡辺光博	大学院政策・メディア研究科	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
第二高調波イメージングの応用による神経生理機能解析	塗谷睦生	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ADAM10が制御するNotchシグナル伝達の骨代謝への関与	依田昌樹	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
糖尿病に伴う治療抵抗性高血圧でのPKCシグナルとミネラルコルチコイド受容体の役割	城理絵	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
タバコ煙の肺胞上皮障害に対するスタチンの効果と作用機序	中鉢正太郎	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心筋梗塞後創傷治癒過程における骨髄由来樹状細胞の役割	安西淳	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮腔内液性因子に注目した着床不全の病態解明と治療法の開発	井上治	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
特異性/遺伝性肺動脈性肺高血圧症の疾患特異的iPS細胞の樹立および解析	楠本大	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ピロリ菌感染時における十二指腸上皮細胞の鉄吸収異常と鉄毒性に関する検討	平田賢郎	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒルシスプルング病および類縁疾患の原因遺伝子解析と神経堤幹細胞移植治療	藤村匠	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
虚血性心疾患二次予防の至適薬剤を検証する前向き無作為化研究	遠藤彩佳	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌発癌モデルを用いた血管新生の依存度に応じた新規治療戦略の確立	萩原正幸	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
哺乳類Mitotic Exit Networkの腫瘍抑制機構解明	園仲慎治	医学部附属先端医科学研究研究所	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
EpCAMIによる癌幹細胞特異的代謝機構の解明及びその阻害による癌治療法の開発	永野修	医学部附属先端医科学研究研究所	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
「がん幹細胞を標的とした根治療法の開発」(酸化ストレス回避機構を標的としたがん幹細胞治療戦略の考案及び大腸がん幹細胞を標的とした創薬スクリーニング)	永野修 佐藤俊朗	医学部附属先端医科学研究研究所 医学部臨床教室	30,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝臓線維化病態における、肝星細胞のFree cholesterol代謝機構の解明	寺谷俊昭	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経幹細胞においてMusashi1遺伝子を制御する転写因子の同定と機能の解析	河瀬聡	医学部総合医科学研究センター	2,340,000 円	補 〇 文部科学省 委
MidkineおよびPleiotrophinによる造血幹細胞の自己複製	郷嶋	医学部坂口光洋記念講座	2,600,000 円	補 〇 文部科学省 委
間質系損傷治癒細胞の起源の解明	鈴木禎史	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
白血病幹細胞のCD44による代謝制御メカニズムの解析	杉原英志	医学部附属先端医学研究所	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
涙腺細胞における評価系確立を目的とした、涙腺上皮細胞株の樹立	川北哲也	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 〇 文部科学省 委
心血管ホルモンによるミトコンドリアを介した酸素利用制御の病態生理学的意義の解明	宮下和季	医学部寄附講座	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
小胞体ストレス応答経路を介した破骨細胞分化制御機構の解明	東門田誠一	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 〇 文部科学省 委
転移因子とArgonauteの軍拡競争からゲノムの進化を探る	塩見春彦	医学部基礎教室	31,200,000 円	補 〇 文部科学省 委
神経細胞の最終分化過程と樹状突起成熟における細胞内ロジスティクス制御機構の解明	川内健史	医学部基礎教室	3,510,000 円	補 〇 文部科学省 委
乳癌の再発・転移における乳癌幹細胞および上皮間葉転換(EMT)シグナルの解析	有馬好美	医学部附属先端医学研究所	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
神経軸索伸長期からシナプス形成期への移行を司る遺伝子発現制御プログラムの解析	桑子賢一郎	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
細胞間ワイヤリングを基軸とする血液脳関門の制御機構	菅田浩司	医学部基礎教室	3,510,000 円	補 〇 文部科学省 委
血液脳関門の防御機構を司る分子メカニズムの解明	菅田浩司	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
C型肝炎ウイルス持続感染培養肝細胞を用いた持続感染と代謝異常の機構解明	杉山和夫	医学部寄附講座	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
細胞アレイによる卵巣癌抗癌剤効果予測システムの構築と分子標的薬の探索	津田浩史	医学部臨床教室	910,000 円	補 〇 文部科学省 委
次世代シーケンサーを用いた家族性心房細動の原因遺伝子検索	相澤義泰	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
サイトカインによる炎症と抗炎症のバランス制御機構の解明	吉村昭彦	医学部基礎教室	9,230,000 円	補 〇 文部科学省 委
T細胞分化のシステムバイオロジー	吉村昭彦	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
腸管病原性大腸菌III型分泌装置による宿主獲得免疫の制御機構と感染における意義	永井武	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
新規ヘム標的タンパク質HSP27の細胞防御制御機構の解明	加部泰明	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 〇 文部科学省 委
翻訳リボソーム親和精製法による弓状核におけるインスリンシグナルの標的遺伝子の同定	中江淳	医学部寄附講座	1,170,000 円	補 〇 文部科学省 委
細胞周期を可視化する蛍光プローブを用いた新規の心筋細胞周期調節因子の探索	橋本寿之	医学部総合医科学研究センター	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
大腸癌細胞膜表面EGFR検出によるCetuximab感受性予測法の開発	茂田浩平	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
HMGB-1制御による小腸虚血再灌流障害の抑制法の開発と小腸移植への応用	西山亮	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 〇 文部科学省 委
マウス発生過程の皮膚創傷治癒における様式変化の要因の検討	鳥海正博	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
iPS細胞とモデル動物を用いたFUS遺伝子変異を伴う家族性ALSの病態解析	八木拓也	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
三叉神経系の疼痛受容が皮質拡延性抑制発生に及ぼす影響の解析と機序の解明	鳥海春樹	医学部寄附講座	4,030,000 円	補 〇 文部科学省 委
アルデヒド脱水素酵素遺伝子変異による骨密度低下の早期予防、治療法の確立	星淡子	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	補 〇 文部科学省 委
ABCトランスポートNBDエンジンにおけるATPエネルギー利用メカニズムの解明	相馬義郎	医学部基礎教室	7,800,000 円	補 〇 文部科学省 委
ATP加水分解スイッチ仮説に立脚したABCトランスポート駆動メカニズムの解明	相馬義郎	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 〇 文部科学省 委
マーマセットをモデルとした多能性幹細胞由来神経幹細胞による脊髄損傷前臨床研究	嶋田弘子	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
制御性T細胞の機能のダイナミズムを制御する分子メカニズムの解明	関谷高史	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
間葉系幹細胞の生体内における局在・動態・生理学的機能の解明	河村佳見	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
前立腺癌の進展におけるケモカインと腫瘍関連マクロファージの機能解析と発現制御	城武卓	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
細胞融合メカニズムから迫る、ポドソーム形成の新たな意義	及川司	医学部総合医科学研究センター	8,060,000 円	補 〇 文部科学省 委
細胞極性可視化トランスジェニックマウスを用いた生体内細胞融合の解析	及川司	医学部総合医科学研究センター	1,170,000 円	補 〇 文部科学省 委
気圧変化検出に関する生体部位および分子機構の解明	舟久保恵美	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 〇 文部科学省 委
心筋細胞特異的発現遺伝子群の統合的調節機構および慢性的疾患発生機序の解明	小田真由美	医学部坂口光洋記念講座	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
心筋細胞特異的発現遺伝子群の統合的調節機構および慢性的疾患発生機序の解明	小田真由美	医学部坂口光洋記念講座	4,680,000 円	補 〇 文部科学省 委
リンパ管発生因子CLEC-2の骨髄造血ニッチにおける機能の解明	石津綾子	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
間葉系幹細胞におけるBMP2/PPAR γ シグナルクロストークの解析	高田伊知郎	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 〇 文部科学省 委
piRNA生合成経路におけるKrimp顆粒の役割	佐藤薫	医学部基礎教室	2,340,000 円	補 〇 文部科学省 委
microRNAを指標とした肺癌診断マーカーの開発及び発癌メカニズムの解明	浜本純子	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
TLRシグナルはBtkを介してNLRP3インフラマソームの活性化を制御するのか？	森田林平	医学部基礎教室	4,810,000 円	補 〇 文部科学省 委
SOCS1による濾胞性ヘルパーT細胞の分化及び機能制御の解明	森田林平	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 〇 文部科学省 委
分泌型マイクロRNAによる癌骨転移の分子機構の解明	砂村聡子	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 〇 文部科学省 委
有機蛍光体を用いたIMRT品質保証・管理の精度評価法の確立	花田剛士	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
超急速凍結とアクアポリン発現による幹細胞の選択・濃縮	加藤靖浩	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 〇 文部科学省 委
凍結療法における新規凍結端子の開発	奥井将之	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 〇 文部科学省 委
死体心の脱細胞化三次元細胞骨格とヒト胎児由来間葉系細胞を用いた移植心の創造	北原大翔	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委
低線量率照射による二本鎖切断残存および誤修復を利用した放射線感受性予測法の開発	田中智樹	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 〇 文部科学省 委
抗癌剤の奏効率向上を目指した肺癌新規治療標的へのアプローチ	西弘二	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 〇 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
炎症性サイトカインによる加齢黄斑変性発症機序の解明	長谷川英一	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
一酸化炭素を介した骨組織細胞間ネットワークの解明	中村貴	医学部基礎教室	7,930,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内因性硫化水素による骨芽細胞機能制御メカニズムの解明	中村貴	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肥満におけるインフルエンザウイルス感染症の重症化機構の解明	南宮湖	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
金属ナノ粒子と外部エネルギー励起を用いた肝細胞癌に対する新規肝動脈注入療法の開発	藤村知賢	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マイクロRNAによる骨代謝制御の分子機構の解明	越智広樹	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シナプス小胞融合の可視化による小脳顆粒細胞のプレシナプス活性の解析	井端啓二	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
レット症候群病態におけるNF-κBシグナル関与の解析	岸憲幸	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ダイオキシン受容体とその関連因子による自然免疫応答およびTh17分化の制御	木村彰宏	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
酸化LDLコレステロールと潜在性動脈硬化症、生活機能の関連についての地域疫学研究	岡村智教	医学部基礎教室	6,240,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素応答のメタボローム解析から新しい虚血再灌流傷害治療法の開発へ	南嶋洋司	医学部基礎教室	3,510,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素センサーを標的とした2型糖尿病治療法の探索と展開	南嶋洋司	医学部基礎教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素応答をターゲットとした新たな心停止後症候群治療法開発への展望	南嶋しづか	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
早期消化管癌に対する内視鏡的切除における偶発症対策法の確立	浦岡俊夫	医学部クラスター部門	3,250,000 円	補 ○ 文部科学省 委
人工酵素運搬体投与による肺移植後拒絶反応軽減の基礎的研究	加勢田馨	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
オピオイドのがん細胞増殖ならびに幹細胞分化に及ぼす影響	葛巻直子	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性炎症起因性大腸がんの微小環境の解明と制御法の開発	ポピバナパポリヤナ	医学部総合医科学研究センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カルシウムオンシレーション非依存的破骨細胞分化を担う分子群の探索と同定	黒田有希子	医学部総合医科学研究センター	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
In vivoイメージングによるブルキンエ細胞樹状突起形態形成メカニズムの解明	林ゆかり	医学部総合医科学研究センター	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先端分析技術による、脳微小領域における虚血に応答した生理活性分子の探索と可視化	杉浦悠毅	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌幹細胞と上皮間葉転換を誘導するシグナル伝達経路を標的とした頭頸部癌治療の研究	佐藤陽一郎	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素センサーPHD2によるCori回路の新規活性化メカニズムの解明	笠原正貴	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
発癌の機序における線維芽細胞増殖因子の役割と新たな分子標的治療への戦略	別役智子	医学部臨床教室	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
DNAメチル化が支配する造血幹細胞の自己複製能	依馬秀夫	医学部坂口光洋記念講座	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
造血幹細胞の分化様式の解析	依馬秀夫	医学部坂口光洋記念講座	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
口腔癌に対する化学療法+樹状細胞ワクチン療法の最適併用プロトコルの確立	岡本正人	医学部附属先端医科学研究所	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト正常大腸上皮および大腸癌における幹細胞ヒエラルキーの解明	股野麻未	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新しい低侵襲治療「非穿孔式内視鏡的胃壁内反切除術」に関する基礎実験	後藤修	医学部クラスター部門	2,028,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膵内外分泌幹細胞の同定と膵組織再生における役割	洪繁	医学部坂口光洋記念講座	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳形態と拡散テンソル画像によるアルツハイマー病の精神症状出現予測の検討	仲秋秀太郎	医学部寄附講座	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
核内受容体活性化を基盤とした漢方方剤における厚朴配合の意義の解明	小谷仁司	医学部基礎教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
グリア細胞活動が大脳皮質可塑性に果たす役割をin vivoで解明する	高田則雄	医学部寄附講座	4,420,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗がん剤反応性のプロテオーム・メタボローム解析に基づく個別化投薬の新戦略	谷川原祐介	医学部臨床教室	5,980,000 円	補 ○ 文部科学省 委
三次元培養システムを用いたヒト膵癌幹細胞初代培養系の確立	樋口肇	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボリックシンドロームにおける腎臓脂肪連関の解明	徳山博文	医学部臨床教室	520,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リンパ浮腫の定量的評価法の計量心理学的分析と使用指針の作成に関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上皮成長因子受容体阻害剤耐性肺癌におけるPI3キナーゼ経路を中心とした耐性克服	猶木克彦	医学部クラスター部門	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
老化および老年病の発症と末梢血テロメア長の関連についての包括的疫学研究	新井康通	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
妊娠恒常性維持機構における羊膜マトリクス細胞蛋白の役割	峰岸一宏	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高脂肪食の網膜および視機能への影響の分子メカニズムの解析	篠田肇	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規病態スペクトラムALS/FTLD-Uにおける分子病態の解明	伊東大介	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高機能磁性ナノ粒子を用いた大腸癌に対する高感度高効率診断・検診法の開発	長谷川博俊	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳局所脳虚血モデルを用いたNeurovascular Couplingの検討	富田裕	医学部寄附講座	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リン負荷による血管石灰化におけるヒストンメチル化修飾異常の役割解明	吉田理	医学部クラスター部門	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
G-CSFの幹細胞血液中動員作用による慢性肺疾患治療のための基礎的検討	北東功	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
疾患特異的マイクロRNAを治療標的とした頭頸部癌の新規治療戦略	齋藤康一郎	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ガス分子依存性多量的情報伝達系を標的とした脳エネルギー代謝・血流制御機構の解明	梶村眞弓	医学部基礎教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生物学的製剤抵抗機序におけるヒト腸内細菌フローラパターンの経時的変化	岡沢啓	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
体脂肪分布、血中脂肪酸分画、フィットネスに及ぼす2種類の運動介入の効果の比較検討	河合俊英	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ラッセル・シルバー症候群におけるエピジェネティック機構の解明	吉橋博史	医学部	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
スペシャル・ポピュレーションに対する抗がん剤の至適投与量・用量調節指標の探索	今村知世	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳組織構築を制御するReelin-Dab1シグナルによる樹状突起形成機構の解明	本田岳夫	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
補中益気湯による抗インフルエンザ作用機構の解明	宗形佳織	医学部クラスター部門	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
シェーグレン症候群新規治療薬としてのBAFFシグナル阻害物質の探索	吉本桂子	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
霊長類同種移植モデルによる心臓再生治療効果の確認	服部文幸	医学部	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮体癌におけるmiRNA治療薬の開発および診断への応用	矢野倉恵	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Blimp1によるIL-1 α の抑制制御を介した炎症と成長の恒常性制御	佐藤結子	医学部寄附講座	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規D-セリンシグナリングを介したシナプス可塑性および記憶・学習制御機構の解明	掛川渉	医学部基礎教室	10,530,000 円	補 ○ 文部科学省 委
対称・非対称性アルギニンメチル化と多能性維持機構	永松剛	医学部坂口光洋記念講座	4,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞の分化抵抗性解析による安全性の確保	永松剛	医学部坂口光洋記念講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
光障害に対するルテインの網膜保護効果の解析	馬淵春菜	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
顕微質量イメージングによる細胞周期依存蛍光標識ヒトがん細胞の生体内代謝動態の解明	大村光代	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ピロリ菌の持続感染力と薬剤耐性に関わる鉄獲得システム依存的抗酸化能発現機序	津川仁	医学部総合医科学研究センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
グリオブラストーマの腫瘍形成規定因子の同定	サンベトラオルテア	医学部附属先端医科学研究研究所	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高脂肪食負荷による涙液分泌減少のメカニズム解明	稲葉隆明	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
異所性子宮内膜症から卵巣明細胞癌および類内膜腺癌への悪性転化機構に関する検討	赤羽智子	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
加齢黄斑変性に対する光線力学的療法(PDT)の眼組織変化の分子メカニズムの解析	鈴木美砂	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ショウジョウバエpiRNA生合成経路におけるTudorの機能解析	西田知訓	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超早産児の虚血性脳障害に関する新規モデルマウスの確立と病態研究	出口貴美子	医学部	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
IL-23によるNotchシグナルを介した新しい免疫制御機構	徐明利	医学部附属先端医科学研究研究所	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
放射線障害評価に有用なレポーター細胞の開発と幹細胞技術を用いた評価系の確立	今井貴雄	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
分化能と造腫瘍性から迫るヒトiPS細胞の品質決定機構の解析	岡田洋平	医学部総合医科学研究センター	7,540,000 円	補 ○ 文部科学省 委
パーキンソン病患者由来ヒトiPS細胞を用いたシナプス病態の解析	岡田洋平	医学部総合医科学研究センター	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトES細胞の神経分化を制御するノンコーディングRNAの解析	岡田洋平	医学部総合医科学研究センター	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス大脳皮質形成において皮質深部で発現するリーリン蛋白質の機能解析	廣田ゆき	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Musashi1-RNA相互作用ゲノムマッピング	矢野真人	医学部基礎教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
網膜色素変性症患者から樹立したiPS細胞の遺伝子治療および病態モデルサルへの移植	吉田哲	医学部総合医科学研究センター	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
破骨・骨芽細胞制御による骨恒常性制御	宮本健史	医学部総合医科学研究センター	4,160,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
破骨・骨芽細胞制御による骨恒常性制御	宮本健史	医学部総合医科学研究センター	3,640,000 円	補 〇 文部科学省 委
胃粘膜免疫システム修飾がピロリ菌胃癌に果たす役割の解析	永井重徳	医学部基礎教室	150,000 円	補 〇 北海道大学 遺伝子病 制御研究所 委

計 884

合計 884

高度の医療技術の開発及び評価の実績

【論文発表等の実績】

雑誌名	巻号	発行年	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med	51 12 1549-53	2012	A Novel Compound Heterozygous Mutation of Gitelman's Syndrome in Japan, as Diagnosed by an Extraordinary Response of the Fractional Excretion Rate of Chloride in the Trichlormethiazide Loading Test.	門川俊明 他	医学教育統 轄センター
Transgenic Res	219 2 468-474	2012	Selective depletion of mouse kidney proximal straight tubule cells causes acute kidney injury.	門川俊明 他	医学教育統 轄センター
Progress in Medicine	32 8 1605-1611	2012	糖尿病患者の自動車運転	馬場美年子 他	総合医科学 研究センタ ー
分子精神医学	12 2 44-51	2012	海馬と統合失調症	仲嶋一範 他	解剖学
分子精神医学	12 2 44-51	2012	統合失調症と海馬	仲嶋一範	解剖学
The Neuroscientist		2012	DISC1 as a key lead in studying cortical development and associated brain disorders.	仲嶋一範 他	解剖学
Neuron	76 2 353-369	2012	Reelin controls neuronal positioning by promoting cell-matrix adhesion via inside-out activation of integrin $\alpha 5 \beta 1$	仲嶋一範 他	解剖学
Exp. Brain Res.	216 2 161-168	2012	Cytoarchitecture of mouse and human subventricular zone in developing cerebral neocortex.	仲嶋一範 他	解剖学
Eur. J. Neurosci.,	36 3 2284-2292	2012	Leucine-rich glioma inactivated 1 (Lgil), an epilepsy-related secreted protein, has a nuclear localization signal and localizes both to the cytoplasm and nucleus of the caudal ganglionic eminence neurons.	仲嶋一範 他	解剖学
J. Neurosci.,	32 34 11643-11656	2012	A phosphatidylinositol lipids system, Lamellipodin and Ena/VASP regulate dynamic morphology of multipolar migrating cells in the developing cerebral cortex.	仲嶋一範 他	解剖学
Dev. Growth Differ., in press.	54 3 366-372	2012	GABAergic interneuron migration and the evolution of the neocortex.	仲嶋一範 他	解剖学

神経化学トピックス									
	2012		リーリンは、細胞接着因子インテグリンを細胞内から活性化し細胞外基質との接着を亢進することによって、神経細胞の配置を制御する	仲嶋一範					解剖学
Current Topics、実験医学									
	2012		リーリン依存的な integrin $\alpha 5 \beta 1$ の活性化による神経細胞の配置機構	仲嶋一範	他				解剖学
Eur. J. Neurosci.									
36	3	2012	Involvement of mGluR5-signaling in activity-related proliferation of adult hippocampal neural stem cells.	仲嶋一範	他				解剖学
	2273-2283								
Current Biology									
22	7	2012	The medaka zic1/zic4 mutant provides molecular insights into teleost caudal fin evolution.	清水厚志	他				分子生物学
	601-607								
Journal of Dermatological Science									
68		2012	Identification of mutations in the prostaglandin transporter gene SLCO2A1 and its phenotype-genotype correlation in Japanese patients with pachydermoperiostosis	清水厚志	他				分子生物学
	36-44								
Transgenic Research									
		2012	Dual promoter expression system with insulator ensures a stringent tissue-specific regulation of two reporter genes in the transgenic fish.	清水厚志					分子生物学
心臓									
44	7	2012	わが国における循環器疾患予防のための大規模統合コホート研究とその成果	岡村智教					衛生学公衆衛生学
	793-798								
J Atheroscler Thromb									
19	12	2012	Guidelines for the Management of Familial Hypercholesterolemia.	岡村智教	他				衛生学公衆衛生学
	1043-60								
J Atheroscler Thromb									
19	4	2012	Defining patients at extremely high risk for coronary artery disease in heterozygous familial hypercholesterolemia.	岡村智教	他				衛生学公衆衛生学
	369-375.								
Keio J Med									
61	3	2012	Blood Cholesterol Level and Risk of Stroke in Community-based or Worksite Cohort Studies: A Review of Japanese Cohort Studies in the Past 20 years	岡村智教	他				衛生学公衆衛生学
	79-88.								
Current Therapy									
30	3	2012	脂質異常症はなぜ悪いのか	岡村智教	他				衛生学公衆衛生学
	188-192								
Stroke									
43	2	2012	Effects of public education by television on knowledge of early stroke symptoms among a Japanese population aged 40 to 74 years: a controlled study	岡村智教	他				衛生学公衆衛生学
	545-9.								
Hum Mutat									
33	2	2012	CDH13 gene coding Tcadherin influences variations in plasma adiponectin levels in the Japanese population	岡村智教					衛生学公衆衛生学
	402-10								

Circulation	125	10	2012	Prognostic Values of Clockwise and Counterclockwise Rotation for Cardiovascular Mortality in Japanese Subjects: A 24-Year Follow-Up of the National Integrated Project for Prospective Observation of Noncommunicable Disease and Its Trends in the Aged, 1980-2004 (NIPPON DATA80).	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		1226-1233					
J Atheroscler Thromb	19	11	2012	Does High-Sensitivity C-Reactive Protein or Low-Density Lipoprotein Cholesterol Show a Stronger Relationship with the Cardio-Ankle Vascular Index in Healthy Community Dwellers? :the KOBE Study.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		1027-34.					
J Atheroscler Thromb	19	11	2012	Multicenter Study to Determine the Diagnosis Criteria of Heterozygous Familial Hypercholesterolemia in Japan.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		1019-26					
Circ J	76	7	2012	Prognostic value of cardiac magnetic resonance imaging for idiopathic pulmonary arterial hypertension before initiating intravenous prostacyclin therapy.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		1737-43.					
J Epidemiol	22	3	2012	Coronary artery calcification by computed tomography in epidemiologic research and cardiovascular disease prevention.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		188-198					
動脈硬化予防	11	2	2012	EPOCH-JAPAN	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		25-31					
J Hypertens	30	12	2012	Long-term risk of BP values above normal for cardiovascular mortality: a 24-year observation of Japanese aged 30 to 92 years.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		2299-2306.					
Circulation	126	21	2012	A Nutrient-Wide Association Study on Blood Pressure.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		2456-64					
J Am Heart Assoc	1		2012	Relation Between Serum Total Cholesterol Level and Cardiovascular Disease Stratified by Sex and Age Group: A Pooled Analysis of 65 594 Individuals From 10 Cohort Studies in Japan.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		e001974, 2012.					
Atherosclerosis	225	1	2012	A multicenter study on the precision and accuracy of homogeneous assays for LDL-cholesterol: Comparison with a beta-quantification method using fresh serum obtained from non-diseased and diseased subjects.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		208-215					
日本公衆衛生雑誌	59	7	2012	前期高齢者における BMI 別医療費と医療費高値群の特性. 29,490 人の大規模データをを用いた検討.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		466-473					
Hypertens Res	35	9	2012	Blood pressure categories and long-term risk of cardiovascular disease according to age group in Japanese men and women.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		947-953					
Diabetes Res Clin Pract	96	2	2012	Diabetes and life expectancy among Japanese - NIPPON DATA80.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
		e18-e22.					

救急・集中医療								
24	7-8 787-792	2012	脳卒中の救急医療体制。一般市民への啓発活動。	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学		
Qual Life Res								
21	1165-70	2012	Relationship between health-related quality of life and clustering of metabolic syndrome diagnostic components.	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学		
Nutr Metab Cardiovasc Dis								
22	1 14-22	2012	Relation of dietary and lifestyle traits to difference in serum leptin of Japanese in Japan and Hawaii: the INTERLIPID study	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学		
Cerebrovasc Dis								
33	5 480-491	2012	Influence of Smoking Combined with Another Risk Factor on the Risk of Mortality from Coronary Heart Disease and Stroke: Pooled Analysis of 10 Japanese Cohort Studies	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学		
日本体質医学会雑誌								
74	1 46-52	2012	循環器病の体質と予防戦略ー日米比較研究・移民研究からの検証ー	岡村智教		衛生学公衆衛生学		
Medical Practice								
29	4 684	2012	One Point Advice.プライマリケアにおける低コレステロール血症の取り扱い。	岡村智教		衛生学公衆衛生学		
日本衛生学雑誌								
67	1 38-43	2012	生活習慣病の予防と医療費：10年間の追跡調査による健診所見と医療費の関連：滋賀国保コホート研究の知見から	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学		
Neurological Sciences								
33	2 403-407	2012	Primary B-cell lymphoma of the cauda equina, successfully treated with high-dose methotrexate plus high-dose cytarabine;a case report with MRI findings.	西田浩子	他	病理学		
Brain Tumor Pathol								
29	2 96-102	2012	Hemorrhagic onset of cerebellar pilocytic astrocytoma in an adult: a case report and review of the literature implying a possible relation of degenerative vascular changes to the massive intratumoral hemorrhage.	木村徳宏	他	病理学		
Journal of Cancer Therapeutics Research								
28	1 1-7	2012	& Primary isolated bone marrow diffuse large B-cell lymphoma with the initial presentation as severe thrombocytopenia, successfully treated with chemotherapy: a case report and review of the literature	西田浩子	他	病理学		
Genomics								
100	2 81-92	2012	CancerProView: a graphical image database of cancer-related genes and proteins.	満山進	他	共同利用研究室		
Thromb Res.								
131	e160-e167	2013	Novel Bernard-Soulier syndrome variants caused by compound heterozygous mutations (case I) or a cytoplasmic tail truncation (case II) of GPIb α	満山進	他	共同利用研究室		
Oncogene								
31	23 2849-2861	2012	Ink4a and Arf are crucial factors in the determination of the cell of origin and the therapeutic sensitivity of Myc-induced mouse lymphoid tumor.	杉原英志	他	先端医科学研究所(遺伝子)		

International Journal of Cancer	130	11	2012	Loss of p16 expression is associated with the stem cell characteristics of surface markers and therapeutic resistance in estrogen receptor-negative breast cancer.	杉原英志	他	先端医学研究所 (遺伝子)
Prog. Med.	32	3	2012	GERD における日本語版 GerdQ 問診票の有用性	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
日本臨牀	70	増 1	2012	炎症性腸疾患の神経・内分泌的要因	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
Helicobacter Research	16	3	2012	日本ヘリコバクター学会認定医および認定施設の現況	鈴木秀和		内科学 (消化器)
J. Clin. Biochem. Nutr.			2012	PPI-amoxicillin-clarithromycin versus PPI-amoxicillin-metronidazole as first-line Helicobacter pylori eradication therapy.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
Free Radic. Biol. Med.	56	2	2012	FecA1, a bacterial iron transporter, determines the survival of Helicobacter pylori in the stomach.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
Biochem. Biophys. Res. Com.	420	2	2012	Effects of β -(1,3-1,6)-D-glucan on irritable bowel syndrome-related colonic hypersensitivity.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
World J. Gastroenterol.	18	21	2012	Dual therapy for third-line H. pylori eradication and urea breath test prediction.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
BIO Clinica	27	4	2012	ヘリコバクター・ピロリ感染症と酸化ストレス	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
J. Clin. Biochem. Nutr.	50	1	2012	Roles of oxidative stress in stomach disorders.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
消化器内科	54	3	2012	H. pylori の病原機序, 薬剤耐性機序	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
消化と吸収	34	3	2012	過敏性腸症候群(IBS)の大腸鏡・CT colonography (CTC) による腸管運動・形態評価・腸管形態異常型 IBS 患者 3 例の診断・治療過程の提示	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
Helicobacter Research	16	2	2012	最新文献紹介 NMDA チャンネルはアンモニアによる Helicobacter pylori 感染下の上皮細胞死の機序に関与している	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)

日本ヘリコバクター学会誌	13	2	2012	(上原 H. pylori 優秀賞) H. pylori 除菌不成功によるアモキシシリン耐性化と PBP1 遺伝子変異	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
47-49							
Dig. Dis. Sci.	57	4	2012	Enhanced gastric ghrelin production and secretion in rats with gastric outlet obstruction.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
858-864							
Antimicrob. Agent Chemother.	56	3	2012	Efficacy of sitafloxacin-based rescue therapy for Helicobacter pylori after failures of first- and second-line therapies.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
1643-45							
J. Gastroenterol. Hepatol.			2012	Capsule endoscopy assists in the complete deworming of parasites.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
Neurogastroenterol. Motil.	24	4	2012	Classification of functional dyspepsia based on concomitant bowel symptoms.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
325-e164							
Keio J. Med.			2012	Molecular approaches and modern clinical strategies for the management of Helicobacter pylori infection in Japan.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
日本ヘリコバクター学会誌	13	2	2012	H. pylori 感染と胃がん	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
22							
日本ヘリコバクター学会誌	13	2	2012	(上原 H. pylori 優秀賞) Helicobacter pylori 感染細胞の oncoprotein CagA 排除システム	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
40-42							
Helicobacter Research	16	2	2012	最新文献紹介 胃癌における Helicobacter pylori による細胞質内での p27 の異常発現の促進	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
179							
Am. J. Physiol., Gastrointest. Liver Physiol.	302	3	2012	Reduced ghrelin production induced anorexia after rat gastric ischemia and reperfusion.	鈴木秀和	他	内科学 (消化器)
G359-64							
Endocrine Research	37		2012	A new preventive strategy for hypoglycemia incorporating added food diet inpatients with type 2 diabetes who received sitagliptin therapy.	目黒周	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
175-181							
International Journal of Endocrinology			2012	Factors associated with decline of kidney function differ among eGFR strata in subjects with type 2 diabetes mellitus.	目黒周	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
687867							
Annals of the Rheumatic Diseases	71	5	2012	Anti-NXP2 autoantibodies in adult patients with idiopathic inflammatory myopathies: possible association with malignancy	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
710-713							

Annals of the Rheumatic Diseases	71	4	2012	Quantification of circulating endothelial progenitor cells in systemic sclerosis: a direct comparison of protocols	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
				617-620			
Experimental Hematology	40	4	2012	Critical role of CD4+CD25+ regulatory T cells in preventing murine autoantibody-mediated thrombocytopenia	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
				279-289			
からだの科学			2012	関節リウマチの薬物療法; 治療効果と副作用のモニタリング	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
				273 79-83			
内科	109	6	2012	知っておきたい内科症候群; クレスト症候群	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
				1460-1462			
リウマチ科	47	6	2012	リウマチ性疾患における自己抗体に関する新たな知見; 筋炎特異自己抗体測定の臨床的意義	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
				605-612			
Archives of Neurology	69	6	2012	Myopathy associated with antibodies to signal recognition particle: disease progression and neurological outcome	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
				728-732			
Modern Rheumatology	22	3	2012	Effects of intravenous immunoglobulin therapy in Japanese patients with polymyositis and dermatomyositis resistant to corticosteroids: a randomized double-blind placebo-controlled trial	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
				382-393			
Modern Rheumatology	22	3	2012	Clinical characteristics of neuro-Behcet' s disease in Japan: a multicenter retrospective analysis	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
				405-413			
分子リウマチ治療	5	3	2012	自己抗体研究の新たな展開; 全身性強皮症: 抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体測定	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
				153-156			
Case Reports in Rheumatology	2012		2012	IgG4-related disease without IgG4 over-expression: pathogenesis implications	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
				754935			
Tissue Antigens	80	1	2012	Associations between six classical HLA loci and rheumatoid arthritis: a comprehensive analysis	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
				16-25			
Rheumatology	51	7	2012	The diagnostic utility of anti-melanoma differentiation-associated gene 5 antibody testing for predicting the prognosis of Japanese patients with dermatomyositis	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
				1278-1284			
Rheumatology International	32	7	2012	High Frequencies and co-existing of myositis-specific autoantibodies in patients with idiopathic inflammatory myopathies overlapped to rheumatoid arthritis	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
				2057-2061			

成人病と生活習慣病	42	8	2012	膠原病 最近の動向(Update 2012): 日常診療に役立つ膠原病診療; 強皮症 (全身性硬化症: SSc)	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
		958-961					
炎症と免疫	20	5	2012	肺動脈性肺高血圧症診療の治療の新展開; 膠原病性肺動脈性肺高血圧症治療の新展開～早期介入・免疫抑制療法～	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
		504-507					
医学のあゆみ	242	8	2012	自己免疫疾患—自己抗体の認識抗原と病因的意義; 抗トロンボポエチン受容体抗体と無巨核球性血小板減少症	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
		584-588					
Modern Rheumatology	22	4	2012	Amyopathic dermatomyositis developing rapidly progressive interstitial lung disease with elevation of anti-CADM-140/MDA5 autoantibodies	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
		625-629					
臨床検査	56	9	2012	間質性肺炎と臨床検査; 生物学的製剤による間質性肺炎	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
		1001-1006					
PLoS One	7	9	2012	Human pentraxin 3 (PTX3) as a novel biomarker for the diagnosis of pulmonary arterial hypertension	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
		e45834					
European Journal of Dermatology	22	5	2012	Two young-adult female cases of dermatomyositis with antibodies for transcriptional intermediary factor 1- γ	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
		668-671					
Rheumatology	51	9	2012	Heparin-dependent and -independent anti-platelet factor 4 autoantibodies in patients with systemic lupus erythematosus	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
		1721-1728					
Rheumatology	51	9	2012	Anti-MDA5 antibody, ferritin and IL-18 are useful for the evaluation of response to treatment in interstitial lung disease with anti-MDA5 antibody-positive dermatomyositis	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
		1563-1570					
神経内科	77	4	2012	炎症性筋疾患研究の最近の進歩; 筋炎関連自己抗体	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
		382-389					
リウマチ科	48	4	2012	強皮症—病態・診断・治療の進歩—; 強皮症の皮膚硬化に対する治療—現状と将来展望—	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
		385-393					
血液フロンティア	22	11	2012	膠原病と血液異常; 膠原病に伴う免疫性血小板減少症	桑名正隆		内科学 (リウマチ)
		1643-1650					
Rheumatology	21	12	2012	Circulating anti-double-stranded DNA antibody-secreting cells in patients with systemic lupus erythematosus: a novel biomarker for disease activity	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)
		1284-1293					

Rheumatology							
51	10	2012	Clinical characteristics and survival of Japanese patients with connective tissue disease and pulmonary arterial hypertension: a single-center cohort	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)	
	1846-1854						
Arthritis Care & Research							
64	10	2012	Clinical manifestations of dermatomyositis and clinically amyopathic dermatomyositis patients with positive expression of anti-MDA5 antibody	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)	
	1602-1610						
Pharma Medica							
30	11	2012	肺高血圧診療の最前線; 膠原病疾患に伴う肺高血圧: 強皮症に合併する肺高血圧を中心に	桑名正隆		内科学 (リウマチ)	
	23-27						
リウマチ科							
48	5	2012	話題; 炎症性筋症における抗 MJ 抗体と悪性腫瘍	桑名正隆		内科学 (リウマチ)	
	574-580						
Clinical and Developmental Immunology							
2012		2012	Fibronectin binding is required for human circulating monocytes to acquire the mesenchymal/endothelial differentiation potential	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)	
	820827						
CML-Pulmonary Hypertension							
3	4	2012	Combined interstitial lung disease and pulmonary hypertension in systemic sclerosis: pathophysiology and management	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)	
	105-115						
Arthritis & Rheumatism							
64	11	2012	Association of HLA-DRB1*0101/*0405 with susceptibility to anti-melanoma differentiation-associated gene 5 antibody-positive dermatomyositis in the Japanese population	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)	
	3736-3740						
北海道小児リウマチ性疾患研究会第25回記念誌							
		2013	第22回特別講演; 血小板減少症と自己抗体	桑名正隆		内科学 (リウマチ)	
	24-25						
Modern Rheumatology							
23	1	2013	Early diagnosis and treatment for remission of clinically amyopathic dermatomyositis complicated by rapid progress interstitial lung disease: a report of two cases	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)	
	190-194						
日本臨床免疫学会誌							
36	1	2013	強皮症における血管内皮前駆細胞異常	桑名正隆		内科学 (リウマチ)	
	17-26						
Histology and Histopathology							
28	2	2013	Proangiogenic hematopoietic cells of monocytic origin: roles in vascular regeneration and pathogenic processes of systemic sclerosis	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)	
	175-183						
Journal of Thrombosis and Haemostasis							
11	2	2013	Predominant autoantibody response to GPIIb/IX in a regulatory T-cell-deficient mouse model for immune thrombocytopenia	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)	
	369-372						
Arthritis & Rheumatism							
65	2	2013	PLD4 as a novel susceptibility gene for systemic sclerosis in a Japanese population	桑名正隆	他	内科学 (リウマチ)	

472-480					
PLOS One					
7	3	2012	Percutaneous Cryoablation for the Treatment of Medically Inoperable Stage I Non-Small Cell Lung Cancer	山内良兼	他 外科学 (呼吸器)
e33223					
PLOS One					
7	8	2012	Incidence of pleural recurrence after computed tomography-guided needle biopsy in stage I lung cancer.	山内良兼	他 外科学 (呼吸器)
e42043					
The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery					
145	3	2013	Prediction of the critical thermal zone during pulmonary cryoablation on computed tomography from correlated experimental and clinical findings	山内良兼	他 外科学 (呼吸器)
832-8					
産科と婦人科					
79	6	2012	卵巣癌治療の変遷と今後の展開 10. プラチナ抵抗性再発卵巣癌の取扱い	野村弘行	他 産婦人科学
742-747					
日本臨牀					
70	4	2012	婦人科がん 最新の研究動向・Ⅲ.子宮体癌 子宮体癌の治療 治療概論	野村弘行	他 産婦人科学
381-387					
European Journal of Gynecological Oncology					
33	1	2012	Retrospective study comparing irinotecan and pegylated liposomal doxorubicin in treatment of recurrent platinum-refractory/resistant epithelial ovarian cancer	野村弘行	他 産婦人科学
86-89					
International Journal of Oncology					
41		2012	Epimutation and cancer: A new carcinogenic mechanism of Lynch syndrome (Review)	野村弘行	他 産婦人科学
793-797					
関東連合産科婦人科学会誌					
49		2012	当院における若年症例の外陰部腫瘍手術に対する新しい取り組み	野村弘行	他 産婦人科学
649-654					
東京産科婦人科学会会誌					
62	1	2013	経腔 Hybrid NOTES により婦人科・外科 2 領域同時手術を施行した 1 例	野村弘行	他 産婦人科学
144-148					
産婦人科漢方研究のあゆみ					
29		2012	“大建中湯”の長期内服が深部静脈血栓症発症後の下肢痛に有効であった 1 例	吉村泰典	他 産婦人科学 (産科)
50-53					
東京産科婦人科学会会誌					
61	01	2012	当院における先天性横隔膜ヘルニア胎内診断例の周産期予後に関する検討	吉村泰典	他 産婦人科学 (産科)
11-15					
Journal of Human Genetics					
57		2012	Haplotype analysis of ESR2 in Japanese patients with spermatogenic failure	吉村泰典	他 産婦人科学 (産科)
449-452					

メディカル・サイエンス・ダイジェスト	38	6	2012	ART 出生児のフォローアップとその長期的予後	吉村泰典		産婦人科学 (産科)
				245-248			
メディカル・サイエンス・ダイジェスト	38	6	2012	総論わが国の生殖医療を考える	吉村泰典		産婦人科学 (産科)
				235-236			
日本医師会雑誌	141	4	2012	災害と周産期医療	吉村泰典		産婦人科学 (産科)
				856-860			
産科と婦人科	79	07	2012	排卵誘発の過去、現在、未来	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
				827-833			
日エンドメトリオーシス会誌	33		2012	子宮内膜症病巣に対するジェノゲスト効果に関する網羅的遺伝子発現解析.	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
				224-226			
東京産婦会誌	61	2	2012	子宮体癌に対する高用量黄体ホルモン療法後の経過観察中に血栓塞栓症を発症した2例	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
				260-264			
日本受精着床学会雑誌	29	2	2012	c-kit ミュータントマウス精巣における新たな遺伝子発現に関する検討	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
				283-289			
日本受精着床学会雑誌	29	2	2012	c-kit ミュータントマウス精巣における新たな遺伝子発現に関する検討	末岡浩		産婦人科学 (産科)
				283-289			
産婦人科の実際	61	8	2012	同腕染色体の性腺モザイク事例に正常核型妊娠は可能か 着床前診断へのアプローチと問題点の指摘	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
				1209-1213			
産婦人科の実際	61	8	2012	子宮頸癌に対する妊孕能温存術式 広汎性子宮頸部提出術の適応と不妊治療の実際	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
				1179-1183			
産婦人科の実際	61	8	2012	診断基準改定により新たに検出される妊娠糖尿病の周産期予後に関する検討	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
				1233-1238			
産婦人科の実際	61	8	2012	今日の話 同腕染色体の性腺モザイク事例に正常核型妊娠は可能か 着床前診断へのアプローチと問題点の指摘	末岡浩		産婦人科学 (産科)
				1209-1213			
周産期医学	42	8	2012	特集 不妊と周産期医療 不妊診療と倫理問題-児への告知含む-	末岡浩		産婦人科学 (産科)

985-989							
日本医師会雑誌							
141 6 1259-1263	2012	生殖医療と倫理的・法的諸問題—男性不妊症	吉村泰典				産婦人科学 (産科)
Clinical Neuroscience リア病—up to date	ミトコンド						
30 9 1064-1067	2012	ミトコンドリア病の治療 核移植治療の有用性と問題点	末岡浩				産婦人科学 (産科)
Jurist 増刊ケース・スタディ生命倫 理と法							
	2012	配偶子提供による生殖補助医療の規	吉村泰典				産婦人科学 (産科)
120-122							
チャイルドヘルス							
15 10 690	2012	生殖補助医療で生まれた子どもの権利	吉村泰典				産婦人科学 (産科)
産婦人科の実際							
61 10 1487-1493	2012	生殖医療	吉村泰典				産婦人科学 (産科)
東京産科婦人科学会誌							
61 3 333-336	2012	炎症性腸疾患合併妊娠の疾患活動性および周産期臨床像に関する後方視的検討	吉村泰典	他			産婦人科学 (産科)
臨床婦人科産科							
66 12 1126-1133	2012	出生前診断の方法と意義 着床前診断	吉村泰典	他			産婦人科学 (産科)
臨床婦人科産科							
66 12 1126-1133	2012	今月の臨床 出生前診断の新しいトレンド 出生前診断の方法と意義 着床前診断	末岡浩				産婦人科学 (産科)
母子保健情報							
66 85-90	2012	ART から再生医療へ	吉村泰典	他			産婦人科学 (産科)
母子保健情報							
66 44-48	2012	特集 不妊症治療—現状の課題と将来への展望 II. 不妊症治療の現状と課題 着床前診断の意義と実際	末岡浩				産婦人科学 (産科)
日産婦内視鏡学会誌							
28 2 662-666	2012	当院における腹腔鏡下子宮筋腫核出術後の妊娠に関する検討	吉村泰典	他			産婦人科学 (産科)
Magn Reson Med Sci							
11 4 283-289	2012	Reduction in the vascular bed volume of uterine fibroids after hormonal treatment: Evaluation with dynamic double-echo R2 imaging	吉村泰典				産婦人科学 (産科)

日本女性医学学会誌	20	2	2012	更年期障害の諸症状に対する加味逍遙散、ホルモン補充療法の効果比較—無作為割付研究の結果より—	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
		305-312					
関東連合産科婦人科学会誌	49	4	2012	当院における若年症例の外陰部腫瘍手術に対する新しい取り組み	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
Front Biosci (Elite Ed)	4		2012	Stem cell theory for the pathogenesis of endometriosis	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
		2854-2863					
東京産科婦人科学会誌	62	1	2013	転移性脳腫瘍による動眼神経麻痺が契機となって発見された子宮体癌の1例	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
Semin Reprod Med	31		2013	Somatic stem cells in the myometrium and in myomas	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
		77-81					
Fertil Steril	99		2013	Implications of assisted reproductive technologies on term singleton birth weight: an analysis of 25,777 children in the national assisted reproduction registry of Japan	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
		450-455					
Hormone Frontier in Gynecology	20	1	2013	目で見る生殖幹細胞	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
		6-9					
Hormone Frontier in Gynecology	20	1	2013	子宮内膜の粘膜免疫機構	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
		39-43					
周産期医学	43	3	2013	特集 染色体異常と先天異常症候群の診療ガイド—確定診断法と結果の解釈— —着床前診断	末岡浩		産婦人科学 (産科)
日本女性着床学会雑誌	30	1	2013	上腕短縮を示す女性に対する生殖遺伝カウンセリングの考察—Turner 症候群2例と相互転座1例の取り扱い—	吉村泰典	他	産婦人科学 (産科)
		141-145					
産科と婦人科	79	Suppl.	2012	産婦人科オフィス診療指針、腫瘍分野. 9.子宮鏡検査.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		142-151					
臨床婦人科産科	66	5	2012	オフィスギネコロジー. 子宮内膜増殖症, 子宮内膜ポリープ.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		219-223					
Acta Cytol	56	3	2012	New terminology for intrauterine endometrial samples: a group study by the Japanese society of clinical cytology	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		233-241					

PLoS One									
7	4	2012	Indocyanine green fluorescence imaging for evaluation of uterine blood flow in cynomolgus macaque	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			
	e351242012								
臨床婦人科産科(オフィスギネコロジー 女性のプライマリ・ケア)									
66	5 (増刊号)	2012	子宮内膜増殖症, 子宮内膜ポリープ	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			
	219-223								
東京産科婦人科学会誌									
61	1	2012	当院における先天性横隔膜ヘルニア胎内診断例の周産期予後に関する検討	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			
	11-15								
産科と婦人科 増刊号									
79	Suppl.	2012	子宮頸がん検診の精密検査としてのコルポスコピー	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			
	108-114								
Cancer Sci									
103	4	2012	Proteomic characterization of ovarian cancers identified ANXA4, PSAT1, CRABP2 and SPB5 as histology-specific biomarkers	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			
	747-755								
Epigenomics									
4	2	2012	Epigenetics and genetics in endometrial cancer: new carcinogenic mechanisms and relationship with clinical practice	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			
	147-162								
日本産科婦人科学会雑誌									
64	4	2012	遺伝性乳癌・卵巣癌	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			
	1315-1320								
産科と婦人科 増刊号									
79	Suppl.	2012	子宮鏡検査	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			
	142-151								
Epigenomics									
4	2	2012	Epigenetics and genetics in endometrial cancer: new carcinogenic mechanisms and relationship with clinical practice.	阪笠浩司	他	産婦人科学 (婦人科)			
	147-162								
Biochemistry International	Research								
	2012	2012	Endometrial Cancer and Hypermethylation: Regulation of DNA and microRNA by Epigenetics.	阪笠浩司	他	産婦人科学 (婦人科)			
	Epub Apr 3								
PLoS ONE									
7	4	2012	Indocyanine green fluorescence imaging for evaluation of uterine blood flow in cynomolgus macaque.	阪笠浩司	他	産婦人科学 (婦人科)			
	e35124								
Biochem Res Int									
2012		2012	Endometrial Cancer and Hypermethylation: Regulation of DNA and MicroRNA by Epigenetics	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			
	738274								
家族性腫瘍									
12	2	2012	家族性腫瘍としての子宮体癌—さまざまな症候群との関連—	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)			

57-59							
Glycoconj J							
29	4	2012	Bacterial species-characteristic profiles of molecular species, and the antigenicity of phospholipids and glycolipids in symbiotic Lactobacillus, Staphylococcus and Streptococcus species	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	199-209						
癌と化学療法							
39	5	2012	子宮肉腫に対する薬物療法	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	722-725						
J Cell Biol							
197	5	2012	LATS1/WARTS phosphorylates MYPT1 to counteract PLK1 and regulate mammalian mitotic progression	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	625-641						
家族性腫瘍							
12	2	2012	家族性腫瘍としての子宮体癌・さまざまな症候群との関連.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)	
	57-59						
Oncol Lett							
3	6	2012	Biomarkers in endometrial cancer: Possible clinical applications (Review)	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	1175-1180						
日本臨床 動向ー	婦人科がんー最新の研究						
70	増刊号 4	2012	子宮体癌の家族発生と遺伝子診断	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	292-296						
日本臨床 動向ー	婦人科がんー最新の研究						
70	増刊号 4	2012	治療概論	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	381-387						
日本臨床 動向ー	婦人科がんー最新の研究						
70	増刊号 4	2012	国際共同研究の動向ーGynecologic Cancer Intergroup(GCIG)での論議を中心にー	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	59-66						
日本臨床 動向ー	婦人科がんー最新の研究						
70	増刊号 4	2012	腫瘍マーカー、バイオマーカー	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	543-548						
産科と婦人科							
79	6	2012	プラチナ抵抗性再発卵巣癌の取扱い	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	742-747						
Int J Oncol							
40	6	2012	Progestin therapy for endometrial cancer: The potential of fourth-generation progestin (Review)	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)	
	1755-1762						
International Journal of Oncology							
40	6	2012	Progestin therapy for endometrial cancer: The potential of fourth-generation progestin (Review).	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)	
	1755-1762						

Oncology Letters								
3	6	2012	Biomarkers in Endometrial Cancer: Possible clinical applications (Review).	阪笠浩司	他	産婦人科学 (婦人科)		
	1175-1180							
日本臨床								
70	Suppl 4	2012	婦人科がん・最新の研究動向・子宮体癌の疫学 子宮体癌の家族発生と遺伝子診断.	阪笠浩司	他	産婦人科学 (婦人科)		
	292-296							
日本臨床								
70	Suppl 4	2012	婦人科がん・最新の研究動向・子宮体癌の治療 治療概論.	阪笠浩司	他	産婦人科学 (婦人科)		
	381-387							
J Gynecol Oncol								
23	3	2012	Tumor volume and lymphovascular space invasion as a prognostic factor in early invasive adenocarcinoma of the cervix	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)		
	153-158							
産科と婦人科								
79	7	2012	第4回 手術に役立つ骨盤臨床解剖 -血管編-	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)		
	813-819							
東京産科婦人科学会誌								
61	2	2012	子宮体癌に対する高用量黄体ホルモン療法後の経過観察中に血栓塞栓症を発生した2例	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)		
	260-264							
Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics								
342	1	2012	Etodolac, a cyclooxygenase-2 inhibitor, attenuates paclitaxel-induced peripheral neuropathy in a mouse model of mechanical allodynia.	阪笠浩司	他	産婦人科学 (婦人科)		
	53-60							
からだの科学								
274		2012	早期子宮体がん (IIIa期まで) の治療	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)		
	80-86							
Hum Reprod								
27	8	2012	Uterine autotransplantation in cynomolgus macaques: the first case of pregnancy and delivery	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)		
	2332-2340							
産婦人科の実際								
61	8	2012	子宮頸癌に対する妊孕能温存術式-広汎性子宮頸部摘出術の適応と不妊治療の実際-	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)		
	1179-1183							
Personalized Medicine								
9	6	2012	Blood-direct InvaderPlus® as a new method for genetic testing	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)		
	657-663							
Tumour Biol								
33	4	2012	Cell surface expression of hyaluronan on human ovarian cancer cells inversely correlates with their adhesion to peritoneal mesothelial cells	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)		
	1215-1222							
Human Reproduction								
27	8	2012	Uterine autotransplantation in cynomolgus macaques: the first case of pregnancy and childbirth in primates.	阪笠浩司	他	産婦人科学 (婦人科)		
	2332-2340							

日本産科婦人科学会誌	64	8	2012	専攻医教育プログラム 9. 卵巣癌.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		1837-1840					
東京産科婦人科学会誌	61	2	2012	子宮体癌に対する高用量ホルモン療法後の経過観察中に血栓塞栓症を発症した2例.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		260-264					
Int J Oncol	41	3	2012	Epimutation and cancer: a new carcinogenic mechanism of Lynch syndrome (Review)	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		793-797					
International Journal of Oncology	41	3	2012	Epimutation and cancer: a new carcinogenic mechanism of Lynch syndrome (Review).	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		793-797					
Placenta	33	9	2012	Investigation for tumorigenesis and new molecular target of choriocarcinoma by induced choriocarcinoma cell-1.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		A14-A14					
Cytopathology	23(Sup 1)	48	2012	Aberrant epigenetic DNA hypermethylation in liquid-based endometrial cytology smples: evaluation and potential use in diagnosis.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		46					
Oncol Rep	28	4	2012	Association of epigenetic inactivation of the WRN gene with anticancer drug sensitivity in cervical cancer cells	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		1146-1152					
日本女性医学学会雑誌	20	2	2012	更年期障害の諸症状に対する加味逍遙散、ホルモン補充療法の効果比較 一無作為割付研究の結果より	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		305-312					
産婦人科の実際	61	11 (10月臨時増 刊号)	2012	子宮肉腫	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		1800-1805					
産科と婦人科	79	10	2012	卵巣明細胞腺癌における子宮内膜症共存の臨床的および生物学的意義-TGFβ signalingの関与を中心として	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		1225-1231					
Oncology Reports	28	4	2012	Association of epigenetic inactivation of the WRN gene with anticancer drug sensitivity in cervical cancer cells.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		1146-1152					
Ann Oncol	23	11	2012	Lobular endocervical glandular hyperplasia and peritoneal pigmentation associated with Peutz-Jeghers syndrome due to a germline mutation of STK11	青木大輔		産婦人科学 (婦人科)
		2990-2992					

OncolRep	28	5	2012	Relationship of lower uterine segment cancer with Lynch syndrome: A novel case with an hMLH1 germline mutation	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		1537-1543					
関東連合産科婦人科学会誌	49	4	2012	当院における若年症例の外陰部腫瘍手術に対する新しい取り組み	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		649-654					
PLoS ONE	7	11	2012	Up-regulation of Imp3 confers in vivo tumorigenicity on murine osteosarcoma cells.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		e50621					
Annals of Oncology	23	11	2012	Lobular endocervical glandular hyperplasia and peritoneal pigmentation associated with Peutz-Jeghers syndrome due to a germline mutation of STK-11.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		2990-2992					
Oncology Reports	28	5	2012	Relationship of lower uterine segment cancer with Lynch syndrome: A novel case with a hMLH1 germline mutation.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		1537-1543					
産婦人科の実際	61	13	2012	カニクイザルにおける ICG 蛍光造影を用いた子宮血流動態の解析-子宮移植による妊孕性再建技術の確立を目指して-	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		2113-2120					
PLoS One	7	11	2012	Up-regulation of imp3 confers in vivo tumorigenicity on murine osteosarcoma cells	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		e50621					
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY	19	4	2012	目で見る生殖機能温存手術—子宮頸癌—	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		4-6					
J Biochem	152	6	2012	Possible involvement of glycolipids in anticancer drug resistance of human ovarian serous carcinoma-derived cells	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		587-594					
関東連合産科婦人科学会誌	49	4	2012	当院における若年症例の外陰部手術に対する新しい取り組み.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		649-654					
日本分子腫瘍マーカー研究会誌	27		2012	発現解析による子宮体部癌肉腫の生物学的特性の解明.	平沢晃	他	産婦人科学 (婦人科)
		23-34					
Pers Med	9	6	2012	Blood-direct InvaderPlus as a new method for genetic testing	平沢晃	他	産婦人科学 (婦人科)
		657-663					
Ann Oncol	23	11	2012	Lobular endocervical glandular hyperplasia and peritoneal pigmentation associated with Peutz-Jeghers syndrome due to a germline mutation of STK11	平沢晃	他	産婦人科学 (婦人科)
		2990-2					

Oncol Rep	28	5	2012	Relationship of lower uterine segment cancer with Lynch syndrome: A novel case with an hMLH1 germline mutation	平沢晃	他	産婦人科学 (婦人科)
		1146-1152					
日本分子腫瘍マーカー研究会誌	27		2012	発現解析による子宮体癌再発予測モデルの開発.	平沢晃		産婦人科学 (婦人科)
		45-46					
Genes Chromosomes Cancer	51	3	2012	EGRI and FOSB gene expressions in cancer stroma are independent prognostic indicators for epithelial ovarian cancer receiving standard therapy	平沢晃	他	産婦人科学 (婦人科)
		300-312					
産科と婦人科	79	増刊	2012	子宮頸がん検診の精密検査としてのコルポスコピー	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
		108-114					
家族性腫瘍	13	1	2013	子宮峡部癌の臨床病理学的特徴と Lynch 症候群との関連.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		1-5					
東京産科婦人科学会誌	62	1	2013	転移性脳腫瘍による動眼神経麻痺が契機となって発見された子宮体癌の1例.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		91-95					
東京産科婦人科学会誌	62	1	2013	転移性脳腫瘍による動眼神経麻痺が契機となって発見された子宮体癌の1例	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		91-95					
Cancer Sci	104	1	2013	HMMC-1, a human monoclonal antibody to fucosylated core 1 O-glycan, suppresses growth of uterine endometrial cancer cells	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		62-69					
Int J Gynecol Pathol	32	1	2013	The Origin of Stroma Surrounding Epithelial Ovarian Cancer Cells	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		26-30					
Placenta	34	2	2013	Gene expression profile of a newly established choriocarcinoma cell line, iC(3)-1, compared to existing choriocarcinoma cell lines and normal placenta	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		110-118					
Placenta	34	2	2013	Gene expression profile of a newly established choriocarcinoma cell line, iC3-1, compared to existing choriocarcinoma cell lines and normal placenta.	阪埜浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		110-118					
関東連合産科婦人科学会誌	50	1	2013	子宮動脈塞栓術により救命しえた子宮摘出困難な分娩後大量出血の2例	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		63-68					
日本分子腫瘍マーカー研究会誌	28		2013	子宮体癌の再発を予測できる間質遺伝子の発現に基づいた卵巣癌症例のグループ化	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		29-30					

Oncol Rep	29	3	2013	New candidate therapeutic agents for endometrial cancer: Potential for clinical practice (Review)	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		855-860					
J Virol Methods	188	1-2	2013	Rapid genotyping of carcinogenic human papillomavirus by loop-mediated isothermal amplification using a new automated DNA test (Clinichip HPV TM)	青木大輔	他	産婦人科学 (婦人科)
		83-93					
Current Obstetrics and Gynecology Reports	2	1	2013	Hereditary Endometrial Cancer: Lynch syndrome.	阪基浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		11-18					
Oncology Reports	29	3	2013	New candidate therapeutic agents for endometrial cancer: Potential for clinical practice (Review).	阪基浩司	他	産婦人科学 (婦人科)
		855-860					
Invest Ophthalmol Vis Sci	53		2012	Presence and physiological function of Renin-Angiotensin System in mouse lacrimal gland	小川葉子	他	眼科学
		5416-5425					
PLoS ONE	7	9	2012	Accumulation of secretory vesicles lacrimal gland epithelia is related to non-Sjögren' s type dry eye in visual display terminal users	小川葉子	他	眼科学
		e43688					
PLoS ONE	7		2012	Oxidative stress induced inflammation initiates functional decline of tear production	小川葉子	他	眼科学
		e45805					
診断と治療	100		2012	私はこう治療する 眼の違和感、ドライアイ	小川葉子	他	眼科学
		1403-1407					
Stem Cell Res	10		2012	Aquaporin 1-positive stromal niche-like cells directly interact with N-cadherin-positive clusters in the basal limbal epithelium.	小川葉子	他	眼科学
Invest Ophthalmol Vis Sci	53		2012	Corneal and retinal effects of ultraviolet-B exposure in a soft contact lens mouse model	小川葉子	他	眼科学
		2403-2413					
Am J Pathol	180		2012	Age-related dysfunction of the lacrimal gland and oxidative stress: evidence from the Cu,Zn-superoxide dismutase-1 (Sod1) knockout mice,	小川葉子	他	眼科学
		1879-1896					
Cornea	31	11	2012	The Anti-Aging Approach for the Treatment of Dry Eye	小川葉子	他	眼科学
		S3-S8					
Derma.	190		2012	【皮膚科最新治療のすべて】 天疱瘡 リツキシマブは有効か?	天谷雅行	他	皮膚科学
		91-93					

J Invest Dermatol	132	4	2012	Epitope spreading is rarely found in pemphigus vulgaris by large-scale longitudinal study using desmoglein 2-based swapped molecules	1158-1168	天谷雅行	他	皮膚科学
臨床皮膚科	66	4	2012	骨吸収を伴った小児口唇の線状強皮症の1例	311-315	天谷雅行	他	皮膚科学
J Invest Dermatol	132	4	2012	Pathogenic anti-desmoglein 3 mAbs cloned from a paraneoplastic pemphigus patient by phage display	1141-1148	天谷雅行	他	皮膚科学
Mod Rheumatol			2012	Response to hydroxychloroquine in Japanese patients with lupus-related skin disease using the cutaneous lupus erythematosus disease area and severity index (CLASI)	Epub ahead of print	天谷雅行	他	皮膚科学
Eur J Immunol	42	5	2012	Autoimmunity against M(2) muscarinic acetylcholine receptor induces myocarditis and leads to a dilated cardiomyopathy-like phenotype	1152-1163	天谷雅行	他	皮膚科学
J Invest Dermatol	132	5	2012	Mutations in the SASPase gene (ASPRV1) are not associated with atopic eczema or clinically dry skin	1507-1510	天谷雅行	他	皮膚科学
J Cell Sci			2012	Restoration of the intrinsic properties of human dermal papilla in vitro	Epub ahead of print	天谷雅行	他	皮膚科学
J Allergy Clin Immunol	129	6	2012	Altered stratum corneum barrier and enhanced percutaneous immune responses in filaggrin-null mice	1538-1546	天谷雅行	他	皮膚科学
Nat Immunol	13	8	2012	Stress-induced production of chemokines by hair follicles regulates the trafficking of dendritic cells in skin	744-752	天谷雅行	他	皮膚科学
臨床皮膚科	66	8	2012	無治療で軽快した diffuse neonatal hemangiomas の1例	615-619	天谷雅行	他	皮膚科学
Stem Cells	30	8	2012	Brief Report: Requirement of TACE/ADAM17 for Hair Follicle Bulge Niche Establishment	1781-1785	天谷雅行	他	皮膚科学
日本森田療法学会雑誌	23	1	2012	現代的なうつは森田療法の良い適応である	61-66	新村秀人		精神・神経科学

Proceedings of the 2012 ICME									
392-396	2012	Relationship between Sense of Agency and Task Performance in Target Search Task	前田貴記	他	精神・神経科学				
精神科臨床サービス									
12 3 414-418	2012	向老意識の成熟	新村秀人		精神・神経科学				
日本精神科病院協会雑誌									
31 9 24-28	2012	災害時の避難所における地元精神科医療機関による拠点型支援モデル・福島県郡山市の大規模避難所支援の1年半後	新村秀人		精神・神経科学				
精神科治療学									
27 1559-1561	2012	統合失調症に特異的な強迫症状.	前田貴記		精神・神経科学				
PLoS One									
7 12 e53421	2012	It's Not My Fault: Postdictive Modulation of Intentional Binding by Monetary Gains and Losses.	前田貴記	他	精神・神経科学				
精神医学研究所業績集									
47 104-105	2012	高機能広汎性発達障害における P-F スタディ (成人用) の特徴 (原著論文)	前田貴記	他	精神・神経科学				
Psychiatry Research									
198 1-6	2012	Aberrant sense of agency in patients with schizophrenia: forward and backward over-attribution of temporal causality during intentional action.	前田貴記	他	精神・神経科学				
臨床精神病理									
33 100-101	2012	子宮筋腫を契機として「悪魔つき」を呈した統合失調症の憑依妄想 (させられ体験) と解離性の憑依との鑑別. (会議録)	前田貴記	他	精神・神経科学				
臨床精神病理									
33 98-99	2012	統合失調症における"結びつき体験"の時間論 自己と外界との時間的因果連関の病理 (会議録)	前田貴記	他	精神・神経科学				
Psychopharmacology									
	2012	Striatal and extrastriatal dopamine D ₂ receptor occupancy by the partial agonist antipsychotic drug aripiprazole in the human brain: a positron emission tomography study with [¹¹ C]raclopride and [¹¹ C]FLB457 (in press)	高畑圭輔		精神・神経科学				
精神科治療学									
28 2 248-251	2013	仮性幻覚 (偽幻覚)	前田貴記		精神・神経科学				
Int J Clin Oncol									
17 2 75-78	2012	Clinical evidence of particle beam therapy	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)				
Br J Radiol									
85 1013 636-642	2012	Comparison of clinical, tumour-related and dosimetric factors in grade 0-1, grade 2 and grade 3 radiation pneumonitis after stereotactic body radiotherapy for lung tumours	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)				

J Radiat Res	53	3	2012	Pericardial and pleural effusions after definitive radiotherapy for esophageal cancer	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
		447-453					
臨床放射線	57	9	2012	前立腺癌術後 PSA 再発に対する救済放射線治療の成績	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
		1193-1199					
Radiother Oncol	104	3	2012	Dose volume histogram analysis of focal liver reaction in follow-up multiphase CT following stereotactic body radiotherapy for small hepatocellular carcinoma	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
		374-308					
J Radiat Res	53	5	2012	Predicting pubic arch interference in prostate brachytherapy on transrectal ultrasonography-computed tomography fusion images	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
		753-759					
Brachytherapy	11	6	2012	Impact of MRI-based Postimplant Dosimetric Assessment in Prostate Brachytherapy using Contrast-Enhanced T1 Weighted Images	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
		468-475					
J Radiother Pract	11	4	2012	Multiple myeloma relapse in the irradiated liver: involvement of hepatocyte growth factor akin to that after hepatocyte transplantation	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
		271-273					
Lung Cancer	79	3	2013	Evaluation for local failure by (18)F-FDG PET/CT in comparison with CT findings after stereotactic body radiotherapy (SBRT) for localized non-small-cell lung cancer	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
		248-253					
Int J Radiat Oncol Biol Phys	85	4	2013	Detection of Esophageal Fiducial Marker Displacement During Radiation Therapy With a 2-dimensional On-board Imager: Analysis of Internal Margin for Esophageal Cancer	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
		991-998					
Circulation journal	76	7	2012	Prognostic value of cardiac magnetic resonance imaging for idiopathic pulmonary arterial hypertension before initiating intravenous prostacyclin therapy.	奥田茂男	他	放射線科学 (診断)
		1737-43					
J Bone Joint Surg Br	94	5	2012	Modic changes in the cervical spine: prospective 10-year follow-up study in asymptomatic subjects	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
		678-683					
Brain Dev	34	5	2012	Posterior cerebral artery dissection on a serial magnetic resonance angiography	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
		396-399					
日本放射線技師会雑誌	59	6	2012	プレクリニカル MRI を理解する	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
		622-626					
Injury	43	6	2012	Cross-sectional area of the posterior extensor muscles of the cervical spine in whiplash injury patients versus healthy volunteers -10 year follow-up MR study	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
		912-916					

Eur Spine J		2012	Morphometric analysis of the lumbar intervertebral foramen in patients with degenerative lumbar scoliosis by multidetector-row computed tomography	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
Epub 2012 Jun 29						
Innervation		2012	MRI の進歩と臨床的有用性 脂肪抑制法・Dixon Imaging の応用	奥田茂男		放射線科学 (診断)
27 8 51-55						
Exp Neurol		2012	Diffusion tensor imaging and tractography of the spinal cord: From experimental studies to clinical application	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
Epub 2012 Jul 31						
Am J Med Genet A		2012	Microduplication of Xq24 and Hartsfield syndrome with holoprosencephaly, ectrodactyly, and clefting	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
Epub 2012 Aug 10						
J Neurosurg Spine		2012	Clinical significance of diffusion tensor tractography as a predictor of functional recovery after laminoplasty in patients with cervical compressive myelopathy	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
17 2 147-152						
Eur Spine J		2012	Tandem age-related lumbar and cervical intervertebral disc changes in asymptomatic subjects	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
Epub PMID: 22990606.						
Neuroscience. 2012 Oct 6. doi:10.1016/j.neuroscience.2012.09.033. S0306-4522(12)00973-6.		2012	Atlas of the developing brain of the marmoset monkey constructed using magnetic resonance histology	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
S0306-4522(12) 00973-6						
臨床神経学		2012	鉄沈着を来たす疾患の画像診断	百島祐貴		放射線科学 (診断)
52 11						
Magnetic Resonance in Medical Science		2012	Reduction in the vascular bed volume of uterine fibroids after hormonal treatment: evaluation with dynamic double-echo r(2)* imaging.	奥田茂男	他	放射線科学 (診断)
11 4 283-289						
J Minim Invasive Gynecol.		2012	Myomectomy decreases abnormal uterine peristalsis and increases pregnancy rate.	奥田茂男	他	放射線科学 (診断)
19 63-7						
Intensivist		2013	MRI で深まった ACS の理解	奥田茂男		放射線科学 (診断)
5 1 58-62						
Acta Obstet Gynecol Scand.			Preoperative and intraoperative assessment of myometrial invasion in endometrial cancer: comparison of magnetic resonance imaging and frozen sections.	奥田茂男	他	放射線科学 (診断)

92	5	2013				
	525-535					
心血管疾患の画像診断マニュアル						
8	42	2013	MRI の基礎知識	奥田茂男		放射線科学 (診断)
	26-32					
臨床化学						
41	2	2012	D I C 診断基準の評価並びに検査項目のカットオフ値の検討	村田満	他	臨床検査医学
	166-173					
臨床血液						
53	6	2012	悪性リンパ腫に対する化学療法後に発症し再燃を繰り返した Helicobacter cinaedi による蜂窩織炎	村田満	他	臨床検査医学
	623-627					
International Review of Thrombosis						
7	1	2012	POCT(point of care testing)	猪狩敦子	他	臨床検査医学
	78-80					
Journal of Pharmaceutical Sciences						
		2012	Characterization of hepatic cellular uptake of α 1-acid glycoprotein (AGP), part 2: Involvement of hemoglobin β -chain on plasma membranes in the uptake of human AGP by liver parenchymal cells.	西弘二	他	臨床薬理学
Hum Mol Genet						
21	7	2012	A genome-wide association study identifies locus at 10q22 associated with clinical outcomes of adjuvant tamoxifen therapy for breast cancer patients in Japanese.	今村知世	他	臨床薬理学
	1665-1672					
Oncol Rep						
27	5	2012	Expression changes in arrestin β 1 and genetic variation in catechol-O-methyltransferase are biomarkers for the response to morphine treatment in cancer patients.	今村知世	他	臨床薬理学
	1393-1399					
Clinical Trial						
131		2012	Dose-adjustment study of tamoxifen based on CYP2D6 genotypes in Japanese breast cancer patients	谷川原祐介	他	臨床薬理学
	137-145					
Ann Oncol						
12		2012	International models of investigator-initiated trials: implications for Japan	今村知世	他	臨床薬理学
	3151-3155					
The American Surgeon						
78	4	2012	Single-incision laparoscopic surgery for partial gastrectomy in patients with a gastric submucosal tumor	高橋常浩	他	腫瘍センター
	447-450					
Anticancer Research						
32	12	2012	Phase I study of combination chemotherapy consisting of paclitaxel, cisplatin, and S-1 in patients with unresectable gastric cancer (KOGC-02)	高橋常浩	他	腫瘍センター
	5401-5406					
J Child Neurol						
		2012	Catastrophic Autonomic Crisis With Cardiovascular Collapse in Spinal Muscular Atrophy With Respiratory Distress Type 1.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター
Pediatr Blood Cancer						
			The germline TP53 mutation c.722 C>T promotes bone and liver tumorigenesis at a young age.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター

59	7	2012				
	1332-1333					
Am J Med Genet A						
158	3	2012	Ophthalmic features of CHARGE syndrome with CHD7 mutations.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター
	514-518					
Am J Med Genet A						
158	10	2012	Microduplication of Xq24 and Hartsfield syndrome with holoprosencephaly, ectrodactyly, and clefting.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター
	2537-2541					
Am J Med Genet A						
158	A(4)	2012	Hydrocephalus with Hirschsprung disease: severe end of X-linked hydrocephalus spectrum.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター
	812-5					
Am J Med Genet A						
158	A(5)	2012	EEC syndrome-like phenotype in a patient with an IRF6 mutation.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター
	1219-20					
Am J Med Genet A						
158	10	2012	Tissue-limited ring chromosome 18 mosaicism as a cause of Pitt-Hopkins syndrome.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター
	2621-2623					
Congenit Anom						
52	2	2012	Age-dependent change in behavioral feature in Rubinstein-Taybi syndrome.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター
	82-86					
Am J Med Genet A						
158	10	2012	12q14 microdeletion syndrome and short stature with or without relative macrocephaly.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター
	2542-2544					
Am J Med Genet A						
158	8	2012	Congenital corneal staphyloma as a complication of Kabuki syndrome.	小崎健次郎	他	医学部臨床遺伝学センター
	2000-2002					
Medical Technology						
40	4	2012	第2話 どうして血糖値が下がるの？	石橋みどり		中央臨床検査部
	405-410					
糖尿病						
55	6	2012	国内外標準化物質による HbA1c 測定値の乖離要因の検討—POCT 対応小型 HbA1c 測定機器「DCA2000/DCA バンテージ」の日常法との乖離要因—	小口修司	他	中央臨床検査部
	386-391					
臨床検査						
56	7	2012	標準化の国際動向、日本の動き JSLM の動向—標準化委員会の活動を通して—	石橋みどり	他	中央臨床検査部
	796-799					
糖尿病						
		2012	HbA1c の施設間差と HbA1c 測定法による差異	石橋みどり		中央臨床検査部

医学と自然								
67	2	2012	ピトロス HbA1c 測定値における日常検査法 (HLC - 723G8) との整合性検討	中川央充	他	中央臨床検査部		
	271-277							
<i>Acta Crystallographica</i>								
E68	11	2012	(+)-(1 <i>S</i> ,5 <i>R</i> ,6 <i>R</i>)-6-[(<i>S</i>)-1-Hydroxy-2-(methoxymethoxy)ethyl]-1-methyl-3-trichloromethyl-2-aza-4,7-dioxabicyclo[3.3.0]oct-2-en-8-one	大石毅	他	医学部 (日吉)		
	o3185							
KEK Proc.								
2012-8		2012	Development of Position Sensitive Tissue Equivalent Proportional Counter (PS-TEPC)	寺沢和洋		医学部 (日吉)		
	1-7							
Space Utiliz. Res.								
28		2012	Development of Position Sensitive Tissue Equivalent Proportional Counter (PS-TEPC) and establishment of a technique for space dosimetry on the International Space Station (2011 WG report)	寺沢和洋	他	医学部 (日吉)		
	to be published							
Central European Journal of Medicine								
7	4	2012	of Statins and hemoperfusion improve 28-day survival in septic shock patients.	井上浩義	他	医学部 (日吉)		
	475-480							
HEDORO								
115	9	2012	放射性物質の除染技術	井上浩義	他	医学部 (日吉)		
	14-19							
PLoS One								
7	9	2012	Selenium Compound Protects Corneal Epithelium against Oxidative Stress.	井上浩義	他	医学部 (日吉)		
	e45612							
J Int Med Res								
40	2	2012	Ezetimibe reduces urinary albumin excretion in hypercholesterolemic type 2 diabetic patients with microalbuminuria.	井上浩義	他	医学部 (日吉)		
	798-803							
<i>Organic Letters</i>								
14	8	2012	Concise synthesis of <i>gamma</i> -trisubstituted amines from ketones using <i>N</i> -methoxyamines	大石毅	他	医学部 (日吉)		
	2098-2101							

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載にあたって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること (当該医療機関に所属する医師などが主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

計 9 / 338
合計 338

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 竹内 勤
管理担当者氏名	病院事務局長兼医療事務室長 本田 博哉 総務担当次長 朝倉 崇 総務担当次長 松田 美紀子 薬剤部次長 河村 俊一

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療事務室	診療記録として保管している記録は、 ・紙媒体⇒一患者一番号制で外来、入院別に分けて集中管理を実施 ・電子媒体⇒情報システム内にて、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に沿った管理を実施
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
	高度の医療の提供の実績	医療事務室
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究支援センター
	高度の医療の研修の実績	卒後臨床研修センター
	閲覧実績	医療事務室
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療事務室
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療事務室 薬剤部
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御センター
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全対策室 (患者サポートセンター)

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御センター
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御センター
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御センター
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御センター
	各号	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	及び	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第九条	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	の	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第二十三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医用工学センター
	第一項	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医用工学センター 放射線治療室
	第一号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医用工学センター 放射線治療室
に掲げる	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医用工学センター 放射線治療室	
体制の			
確保の			
状況			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務局長兼医療事務室長 本田 博哉
閲覧担当者氏名	医療事務室長代理 千葉 徹 医療事務室課長 山本 慎一
閲覧の求めに応じる場所	相談室1～3、中央病歴室閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	72.9%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	22,529人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,765人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	5,477人	
	D：初診の患者の数	45,048人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
・ 指針の主な内容：医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、指針を示すことにより適切な医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資すること。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年11回（8月を除く）
・ 活動の主な内容： ・ 医療事故を未然に防止するための効果的な院内体制の確立 ・ 院内において発生したアクシデントおよびインシデントについての情報の収集 ・ アクシデントやインシデントに関する資料の収集ならびに分析 ・ 医療事故防止のための具体的対策の検討および推進 ・ 医療事故防止のための研修および教育	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	定例年4回：臨時年6回
・ 研修の主な内容： ・ 安全管理体制、報告書の集計分析、医薬品の安全使用、医療機器安全使用 ・ AED について ・ 院内で発生した事例 ・ 医療倫理 ・ 児童虐待防止	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 事故報告書は電子カルテにソフトを導入し、全教職員が使用できる。 ・ 報告ルート：報告者 → 部門セーフティマネジャー → 医療安全管理者 → 医療安全対策室長・病院長 改善のための方策立案 ・ 薬剤に関する医療安全検討委員会 ・ 薬剤 WG（持参薬、糖尿病治療薬、抗血小板薬の休薬、アレルギー情報、マニュアル整備、麻薬取り扱い） ・ 安全 WG（呼吸管理、侵襲的処置（血管内・血管外）、身体抑制、救急カート、肺血栓塞栓予防、）	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専従 2 名 専任 4 名 兼任 6 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理部門の業務指針および、医療安全管理者業務に関する申し合わせに準じて業務を遂行。 ・ 教職員への安全管理に関する教育・指導（研修会の開催）ならびに検証 ・ 安全対策の企画・立案、重大医療事故発生時の対応ならびに検証 ・ 院内安全対策委員会・安全管理に係わる WG の運営 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無								
<p>・ 指針の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>① 院内感染対策に関する基本的な考え方</td><td>⑤ 院内感染状況の報告</td></tr><tr><td>② 感染制御センターの設置</td><td>⑥ 院内感染発生時の対応</td></tr><tr><td>③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置</td><td>⑦ 患者への情報提供と説明</td></tr><tr><td>④ 職員研修</td><td>⑧ 病院における院内感染対策の推進</td></tr></table>		① 院内感染対策に関する基本的な考え方	⑤ 院内感染状況の報告	② 感染制御センターの設置	⑥ 院内感染発生時の対応	③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置	⑦ 患者への情報提供と説明	④ 職員研修	⑧ 病院における院内感染対策の推進
① 院内感染対策に関する基本的な考え方	⑤ 院内感染状況の報告								
② 感染制御センターの設置	⑥ 院内感染発生時の対応								
③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置	⑦ 患者への情報提供と説明								
④ 職員研修	⑧ 病院における院内感染対策の推進								
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 20 回								
<p>・ 活動の主な内容：感染対策運営委員会（月1回、年12回開催） 感染専門委員会（隔月、年6回開催、臨時開催10月・12月）</p>									
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回								
<p>・ 研修の主な内容：感染対策講習会、全教職員対象（5月、9月、10月（2回）、11月、2月） 講習会当日に参加できない教職員のため、録画した映像の上映会（CD 視聴会）を開催（7月、12月、2月）、録画CDの貸出などの機会を設けている。</p> <p>医療従事者のワクチン接種の意義、院内における感染症・耐性菌などの発生状況、 他施設でのアウトブレイク事例、培養検体の適切な採り方、教職員のウイルス抗体価、特 定抗菌薬について、院内の耐性菌対策など</p>									
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況									
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、血液曝露</td></tr><tr><td>② ラウンド：血液培養陽性患者、耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用（週2回） 病棟・外来・その他の施設環境（週1回） スタンダードプリコーション・教職員意識調査（年数回）</td></tr><tr><td>③ 院内周知確認および自己チェック（eラーニング）</td></tr></table>		① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、血液曝露	② ラウンド：血液培養陽性患者、耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用（週2回） 病棟・外来・その他の施設環境（週1回） スタンダードプリコーション・教職員意識調査（年数回）	③ 院内周知確認および自己チェック（eラーニング）					
① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、血液曝露									
② ラウンド：血液培養陽性患者、耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用（週2回） 病棟・外来・その他の施設環境（週1回） スタンダードプリコーション・教職員意識調査（年数回）									
③ 院内周知確認および自己チェック（eラーニング）									

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
・ 研修の主な内容：資料 1 参照	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有)・無) ・ 業務の主な内容：手順書に基づく業務の実施状況の直近確認日 平成25年4月15日 主に外来診察室および病棟、薬剤部における医師、看護師、薬剤師などに対して手順書の管理状況と手順書に基づく業務実施の確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 資料 2、資料 3 参照	

医薬品に係る安全管理のための体制

③医薬品の安全使用のための研修の実施状況

- 平成 24 年 4 月 研修医注射点滴調製研修（参加人数：32 名）4 月 16 日から 5 日間実施
「処方入力時の注意と点滴調製の手技」
- 平成 24 年 6 月 院内安全対策セミナー（参加人数：2,188 名）6 月 6 日実施
「医薬品の安全使用に向けて一新システムにおける処方時の注意点」
- 平成 24 年 11 月 院内安全対策セミナー（参加人数：457 名）11 月 21 日実施
「ワルファリンの基礎」
- 平成 24 年 10 月 感染対策講習会（参加人数：1,008 名）10 月 24 日実施
「特定抗菌薬について」
- 平成 25 年 2 月 看護師注射点滴調製研修（参加人数：105 名）11 月 21 日実施
「薬剤の基礎知識と管理を含めた講義と演習」
- 平成 25 年 4 月 研修医・専修医オーダーリングトレーニング（参加人数：199 名）
4 月 1 日から 4 月 9 日 7 日間実施
「処方薬剤入力について」（内・外用薬処方入力、注射点滴処方入力など）
- 平成 25 年 4 月 研修医注射点滴調製研修（参加人数：28 名）4 月 15 日から 5 日間実施
「処方入力時の注意と点滴調製の手技」
- 平成 25 年 6 月 院内安全対策セミナー（参加人数：1,735 名）6 月 25 日実施
「医薬品安全使用について」
- 平成 25 年 10 月 チーム医療推進セミナー 10 月 8 日実施予定
「周産期部門の薬剤と医療安全」
- 平成 26 年 2 月 看護師注射点滴調製研修 2 月実施予定
「薬剤の基礎知識と管理を含めた講義と演習」

医薬品に係る安全管理のための体制

⑦医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施

医薬品に係る添付文書等の収集

【収集情報を具体的に記入】

- ・ 添付文書、インタビューフォーム、「使用上の注意」の解説、製品情報概要、患者・医療者向け説明書等関連資料は、採用時より収集し、専用の薬剤別ファイルに保管している。
- ・ 改訂があった場合には、改訂案内とともに紙媒体で薬剤別ファイルを更新するとともに、週 1 回服薬指導担当者や各専門領域薬剤師をはじめとする薬剤部員に改定情報をメールで配信している。
- ・ オンライン医薬品情報データベースにより更新情報を入手し、改訂された資料が届いているかもチェックしている。また、同内容を薬剤部員へメール配信している。更に年に 1 回は現有の資料が最新のものであることを各社に照会している。

得られた情報のうち必要なものについて医薬品を取り扱う職員に対しての周知

【周知方法を具体的に記入】

- ・ 医薬品医療機器総合機構より入手した「使用上の注意改訂指示」、「DSU」、「医薬品医療機器等安全性情報」について、院内採用薬の商品名を併記し薬事委員を通じて各診療科へメールでお知らせしている。「医薬品医療機器等安全性情報」については、更に院内のオンライン掲示板及び電子カルテ上の Web ページに掲載している。また、薬剤部職員にも同様にメール配信を行っている。
- ・ 必要に応じて、全部署・全診療科に向けたインフォメーションを発出し、院内のオンライン掲示板並びに電子カルテ上の Web ページに掲載し、同時に薬事委員並びに薬剤部員へメール配信している。
- ・ 特に安全面において影響が大きいと思われるものについては、個別に診療科の薬事委員または専門医に電話またはメールにて連絡をとり、更に薬剤部職員へ周知している。場合によっては処方患者を同定の上、連絡している。

医薬品に係る安全管理のための体制

⑧その他（病院独自で取り組んでいる内容）

<内外用薬>

【処方入力における対策】

- ・ 「薬剤名（力価）」で表示される薬剤（散剤）の入力単位を「mg」に統一し、製剤量入力を防止している
- ・ 薬剤マスターに登録できる単位は使用頻度の高い最大3つとし、一目で使用したい単位が判別できるようにしている（単位選択ミスの防止）
- ・ 麻薬処方を「セット登録」し、そこから処方入力を行うことで、必要なコメントや一般的な用法が間違いなく、処方欄に展開することが可能となり、処方の不備を防止している
- ・ 体重当たりの投与量指示を目的とした定型コメントを登録することで、処方時、簡便かつ正確にコメント入力ができるようにしている。

【調剤における対策】

- ・ ハイリスク薬（糖尿病（内服・インスリン）、抗がん剤、ワルファリン製剤、ジゴキシン製剤、テオフィリン製剤、抗血小板製剤：全135薬品）に関しては、バーコードを用いた認証システムを用いた調剤を行っている
- ・ ハイリスク薬のうちワーファリン、プラビックスは二重鑑査を実施している
- ・ ハイリスク薬が処方された場合、処方せんに前回処方内容および過去1ヶ月の処方歴が印字させる鑑査支援システムを構築している
- ・ 糖尿病薬の錠剤は毎日出納管理を行い、調剤ミスが発生していないかを確認している
- ・ 同日同科処方情報を処方せん上に印字することで、処方の重複を防止している
- ・ 小児薬用量を設定することで、処方せん上に処方チェックエラーが表示されるようにしている

【患者投与時の対策】

- ・ 外用剤である坐薬は全量入力されると1回量が不明確な場合があったため、1回量の入力もできるようにしている

<注射薬>

【処方入力における対策】

(抗がん剤)

- ・ 抗がん剤はレジメン単位でのみ入力が可能である。レジメンは診療科、もしくはクラスターから申請され、レジメン審査委員会の承認を得て使用可能となる。オーダーは一般注射とは異なる画面から入力する

(一般注射)

- ・ 在宅 IVH 処方（院外処方）は、オーダリング化による処方発行の簡素化や処方内容の自動チェックにより、未然に処方ミス防止するシステムを構築している

【調剤・調製における対策】

- ・ 小児 3 病棟についてはすべての注射薬、ICU は 250mL 以上、その他一般病棟においては 500mL 以上の Rp. の混合調製を行っている
- ・ 個人別取り揃えの鑑査には厚労省が薦めている医療安全を目的とした医薬品バーコード（RSS コード）を用いて、部門システムによるバーコード認証を行っている
- ・ 投与時間に注意する必要がある薬剤や配合変化の多い薬剤、調製後薬剤の保管条件などを処方せんに印字し、適切な処方鑑査・薬剤搬送ができるようにしている
- ・ 調製後の鑑査、調製済薬剤の患者確認など部門システムで印字させたバーコードを用いて認証している。さらにこのバーコードは病棟における患者投与時の認証にも使用できる

【払い出し時・投与時の対策】

- ・ 注射薬の払い出し時には、RSS コードと請求データのバーコードをそれぞれ認証することにより、払い出しミス防止するシステムを構築している
- ・ 特定生物由来製品の投与時にはロット入力を必須とすることで、確実なロット管理を可能としている

<内外用・注射共通>

- ・ 規格・適応が複数ある薬剤は薬剤名に(含量注意)や(適応名)を追加することにより、薬剤選択ミス防止している
- ・ 臨床検査値情報を処方せんに印字させ、検査値により用量調節が必要な薬剤の確認を行っている（PT-INR、腎機能など）
- ・ 処方確定時にエラーやワーニング、通知メッセージなどの各種チェック機能が働くように設定している
- ・ 処方入力時は 3 文字以上入力しないと薬剤がリストアップされないようにし、薬剤選択ミス防止している

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
③ 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	14回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 全従業員を対象として 人工呼吸器・ 特定の従事者を対象として 人工心肺装置及び補助循環装置 除細動器 血液浄化装置 閉鎖式保育器 診療用高エネルギー放射線発生装置 診療用放射線照射装置	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 臨床工学技士による点検 除細動器・ 業者委託による保守点検 人工呼吸器、人工心肺装置及び補助循環装置、血液浄化装置 診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置 閉鎖式保育器	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 院内におけるインシデント報告の内容の分析及び報告(2) 医薬品医療総合機構(PMDA)及び日本医療機能評価機構からの安全情報の確認と周知(3) 医療機器メーカーからの安全性情報の確認及び周知	